

令和7年度 第2回川崎市地域公共交通会議

令和7年9月1日

一 次 第 一

議 事

1. 令和6年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について【報告事項】
 - (1) 地元協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について
 - (2) 民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について
2. 今年度実施予定の協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について【報告事項】
 - (1) 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の運行実験について
 - (2) 麻生区区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の運行実験について
 - (3) 多摩区生田山の手地区コミュニティ交通「ぺあたく山の手号」の運行実験について
3. 今年度実施予定の民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について【報告事項】
 - (1) 川崎区の一部におけるデマンド交通「のるーと KAWASAKI」の実証実験について
 - (2) 中原区と高津区の一部におけるデマンド交通「チョイソコかわさき」の実証実験について
4. モビリティ・ハブの取組について【報告事項】
5. 自動運転バスについて【報告事項】
6. 各種分科会報告について【報告事項】
 - (1) 令和7年度生活交通改善事業評価について（UD タクシー、ノンステップバスの導入計画）
7. 地域公共交通に係る意見交換

資 料

- 資 料 1 令和6年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について
- 資 料 2 今年度実施予定の協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について
- 資 料 3 今年度実施予定の民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について
- 資 料 4 モビリティ・ハブの取組について
- 資 料 5 自動運転バスについて
- 資 料 6 各種分科会報告について
- 資 料 7 地域公共交通に係る意見交換

委員名簿

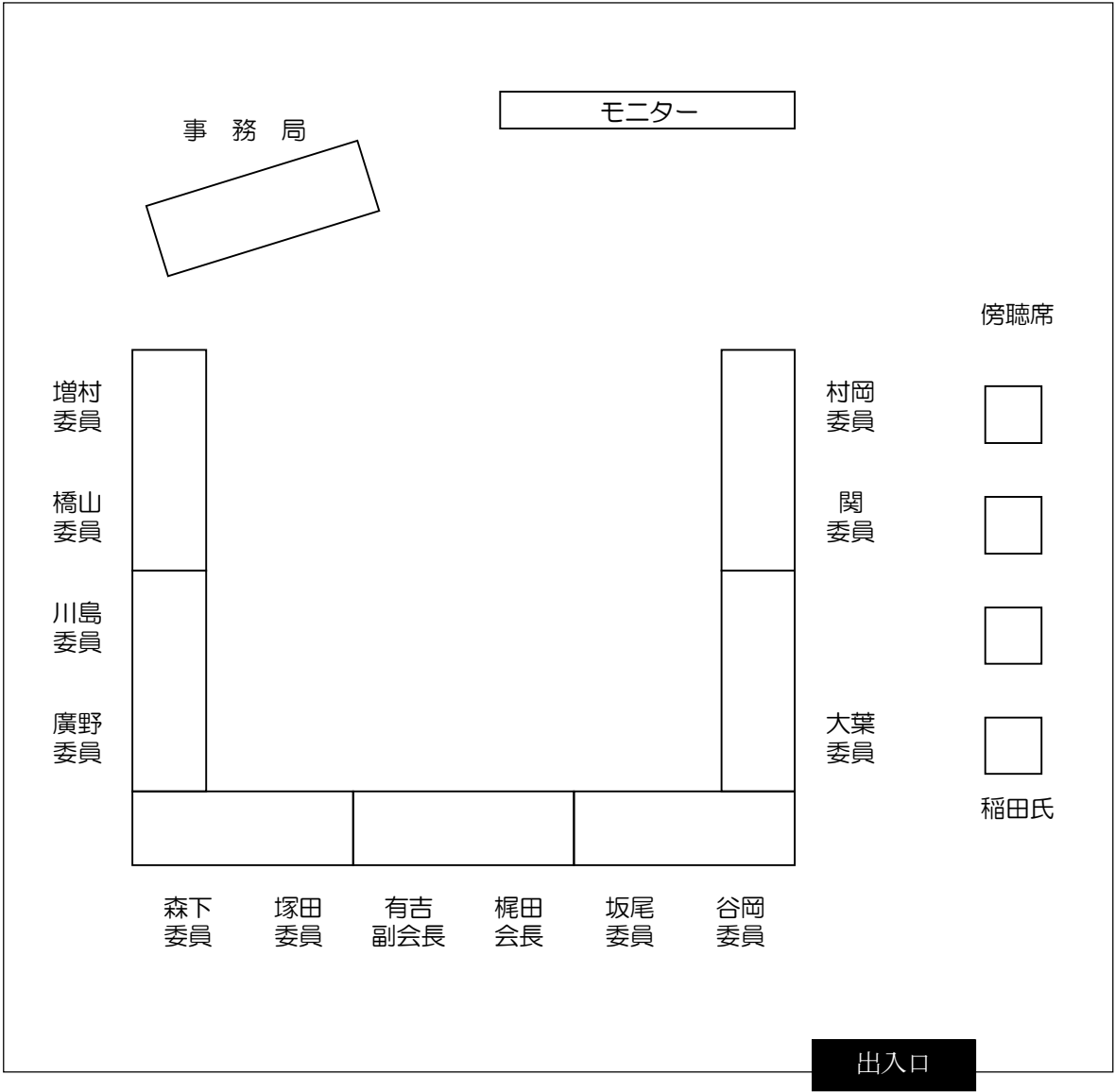
■委 員（敬称略）

名 前	所 属 名	備 考
かじた よしたか 梶田 佳孝	東海大学工学部土木工学科 教授	
ありよし りょう 有吉 亮	名古屋大学 特任准教授	
いで しょういちろう 井手 正一郎	神奈川中央交通（株）運輸計画部長 （一般乗合旅客自動車運送事業者）	代理：橋山担当課長
せき ひろゆき 関 裕之	川崎タクシー（株） 代表取締役社長 （一般乗用旅客自動車運送事業者）	
むらおか たかお 村岡 孝夫	明生タクシー（株） 常務取締役 （一般乗用旅客自動車運送事業者）	
ますむら こういち 増村 幸一	高砂交通（株） 総務部長 （一般乗用旅客自動車運送事業者）	
せきがみ よしあき 関上 義明	（一社）神奈川県バス協会 専務理事	欠席
おおば あきひこ 大葉 章彦	神奈川県タクシー協会川崎支部 事務局長	随行：稲田事務局長代理
かわしま ようこ 川島 要子	川崎市全町内会連合会 理事	
さかお まさゆき 坂尾 雅之	市民（公募による選出）	
たにおか こういち 谷岡 功一	市民（公募による選出）	
もりした ぶんしょう 森下 文章	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	
ひろの しゅういち 廣野 修一	神奈川県県土整備局都市部交通政策課 副課長	
こやま くにまさ 小山 國正	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	欠席
ば ば ひろと 馬場 広人	神奈川県警察本部交通部交通規制課 都市交通対策室長	欠席
さくらい まさゆき 櫻井 雅幸	川崎市建設緑政局 総務部長	欠席
つかだ ゆうや 塚田 雄也	川崎市まちづくり局 交通政策室長	

■事務局

原 天流	まちづくり局 交通政策室コミュニティ交通推進担当課長	
大栗 範久	まちづくり局 交通政策室新モビリティ推進担当係長	
坂本 弥生	まちづくり局 交通政策室新モビリティ推進担当	

席 次 表



1 令和6年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について【報告事項】

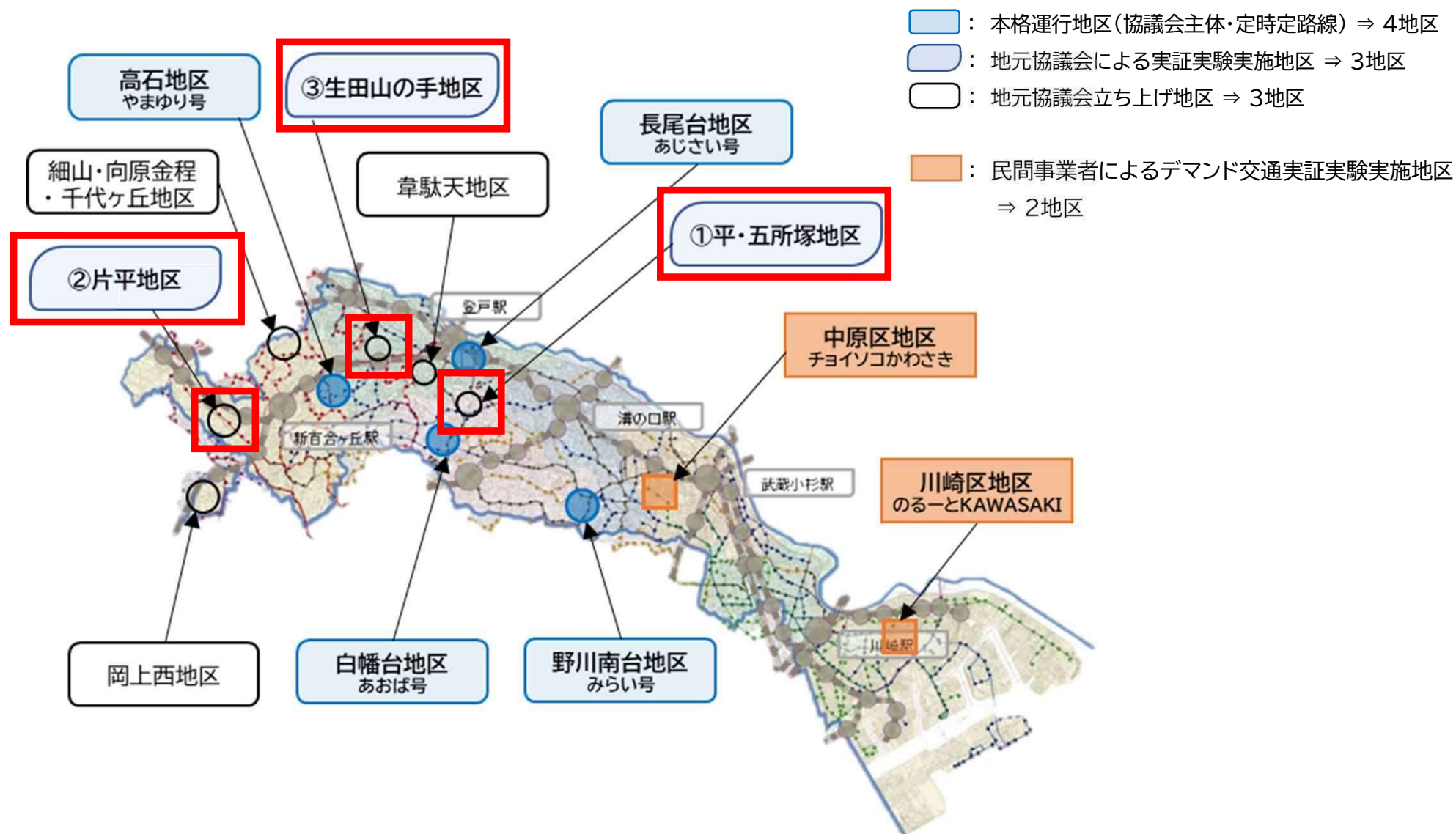
（1）地元協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について【定時定路線型】

- ①宮前区平地区「つばめ号」の運行実験について
- ②麻生区片平地区「かきまる号」の運行実験について
- ③多摩区生田山の手地区「山の手号」の運行実験について

（2）民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について【オンデマンド型】

- ・川崎区の一部「のるーとKAWASAKI」
（川崎鶴見臨港バス株式会社）
- ・中原区・高津区・幸区の一部「チョイソコかわさき」
（株式会社アイシン）

(1) 地元協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について [定時定路線型]



(1)-①. 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の運行実験の概要について

1 目的

- 高山団地をはじめとする高台の住民は、**路線バスのバス停や生活利便施設が立地する麓のバス通りまでの高低差（約50m）の移動に苦慮**しており、その末端交通の確保に向けた取組。
- 令和6年度は、令和5年度の有償運行の結果等を踏まえ、本格運行に向け、新たな運行手法を加えた有償の運行実験を行い、事業性の確保に取り組む。

2 経緯

- 平成29年08月 協議会設立
- 令和04年11月 トライアル運行（令和05年3月まで）
- 令和05年10月～ 有償による運行実験（令和06年2月まで）
- 令和06年10月～ 2度目の有償の運行実験（令和07年3月まで）

3 令和6年度の運行実験における取組内容について

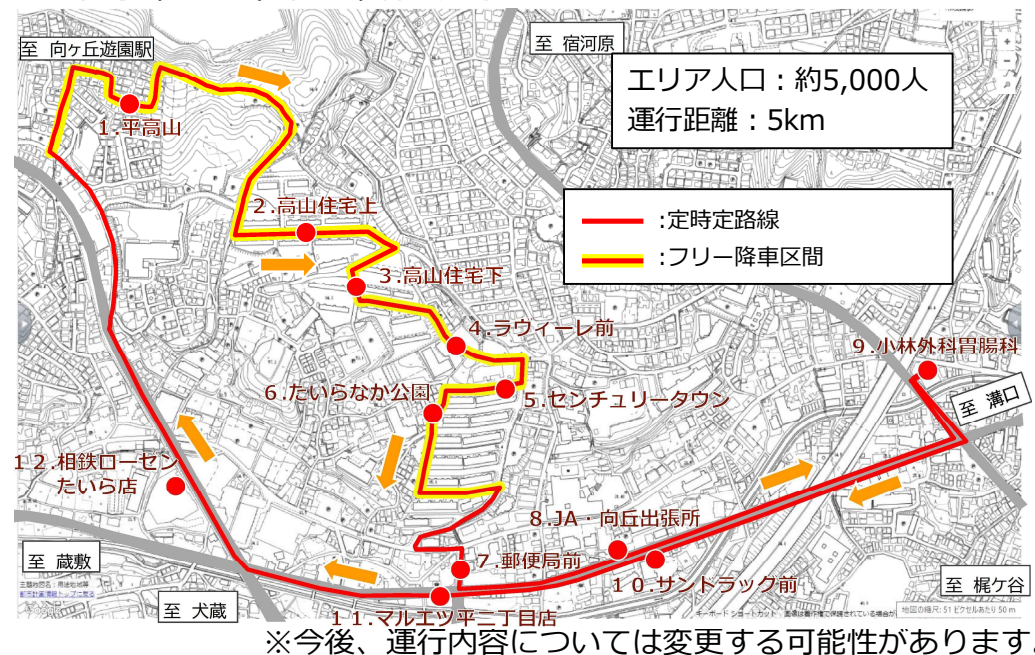
地域が主体となり、継続した運行を行うため、以下の取り組みを行う。

- 令和5年度有償で行った定時定路線型の運行結果を踏まえて、新たに**平高山地区の需要を検証**する。また、本格運行に向けた目標数値を協議会、運行事業者、自治体で共有
- 地域が求める交通を継続的に実現するために必要となる原資の把握
- 地域の既存輸送資源である**タクシー事業者の車両を活用**
- 現金收受と回数券支払いで金額に差を設け、**回数券の販売を促進**するとともに、運行事業者の業務負担を軽減する。

⇒継続的な運行に向け、協議会が主体となり、協議会自らが必要とする交通の運行を運行事業者に委託する仕組みづくりに取り組む。

4 運行内容について

- 愛 称 つばめ号
- 運行形態 定時定路線（乗合い型、循環方式（回送無し））
- 運行期間 令和6年10月16日～令和7年3月28日
- 運行日 月、水、金曜日（※水曜日を追加）
- 運行時間 10時～14時（※過年度の利用実態より）
- 運 賃 11回綴りの回数券2000円、定期券2000円/月
現金300円（現金から回数券、定期券への移行を期待）
- 乗車定員 4名（運転手除く）
- 運行事業者 東栄興業株式会社



5 今後のスケジュール

- 令和07年度中 本格導入に向けた運行実験の実施

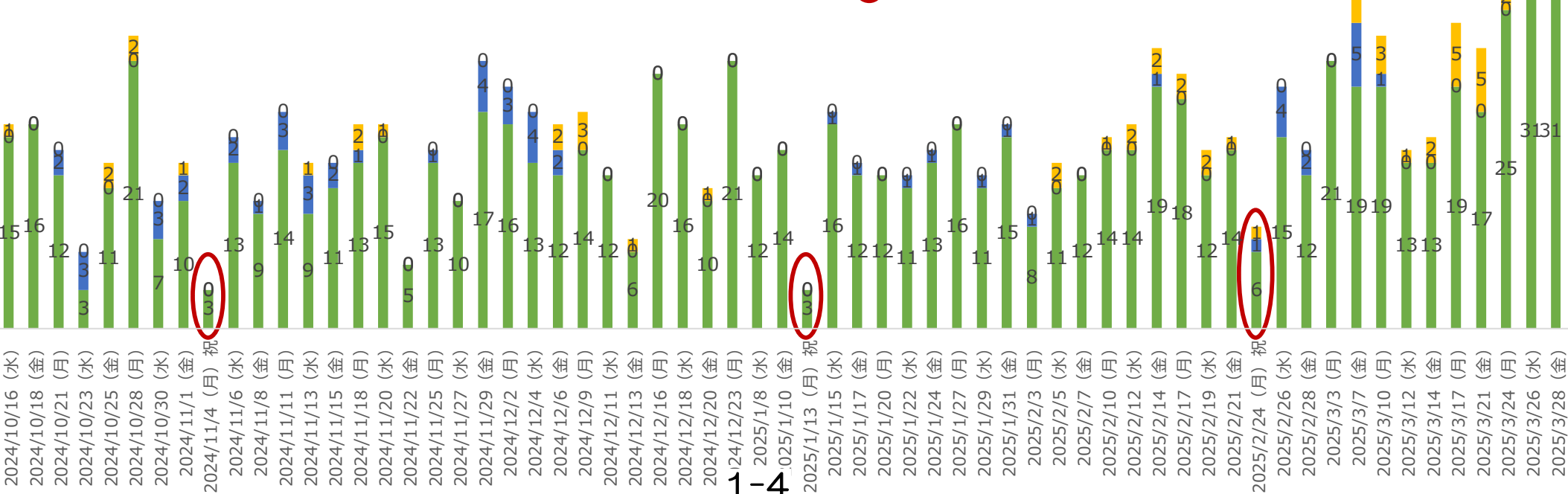
(1)-①. 運行状況について

- 実験最終月の平均乗車人数は、**約24人/日**。祝日の乗車人数は少ない。
- 地域の活動により、回数券の利用が大半を占める傾向となった。
- 令和5年度は838人/36日間（運行時間：288h）に対して、令和6年度は981人/63日間（運行時間：252h）。
- 時間当たりに換算すると、**2.9人/時間→3.9人/時間に増加**。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運行日数（日）	7	13	10	11	12	10
乗車人数（人）	98	166	156	141	177	243
平均乗車人数（人/日）	14	13	16	13	15	24

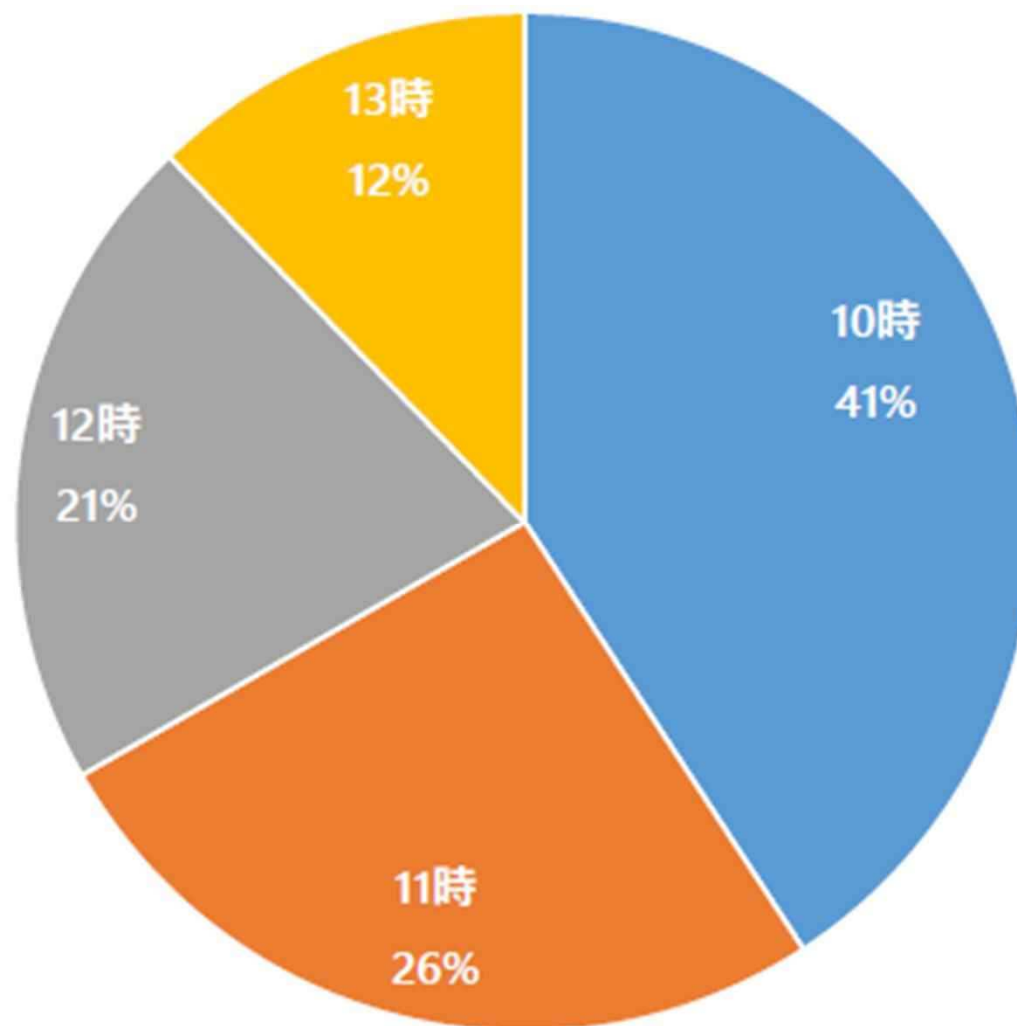
35
30

■ 回数券 ■ 定期券 ■ 現金 ○ 祝日 ※3/5、3/19は降雪のため運休



(1)-①. 運行状況について

- 午前中（10時台、11時台）の利用が70%弱。
- 令和5年度比較すると、極端に割合の少ない時間帯はなく、概ね需要を束ねられている。



(1)-①. 協賛活動について

- 実験期間中には、令和5年度に引き続き、**5企業・団体様からの協賛**を頂く。
- マルエツ様からは、令和5年度に引き続き、宅配サービスのご提供。

○Aプラン

- ✓ 鎌田クリニック 様
- ✓ パル調剤薬局 様

○Cプラン

- ✓ 小林外科胃腸科 様
- ✓ 神木薬局 様
- ✓ くらしの友 様

○その他

- ✓ マルエツ 様
※宅配サービスを提供



「つばめ号」に御乗車頂いた方
限 定

 **maruetsu**
マルエツ
平二丁目店

 共創型コミュニティ交通
つばめ号

お 買 い 物 し た 商 品 を
ご自宅までお届けします。

- つばめ号を御乗車頂いた方は、特別に無料で「らくらくクマさん宅配便」サービスを提供します。
- つばめ号が運行している月曜日と水曜日と金曜日の限定サービスです。
- お買い物が終わりましたらサービスカウンターにて、つばめ号の定期券又は回数券を提示し、宅配サービスを申し込みください。

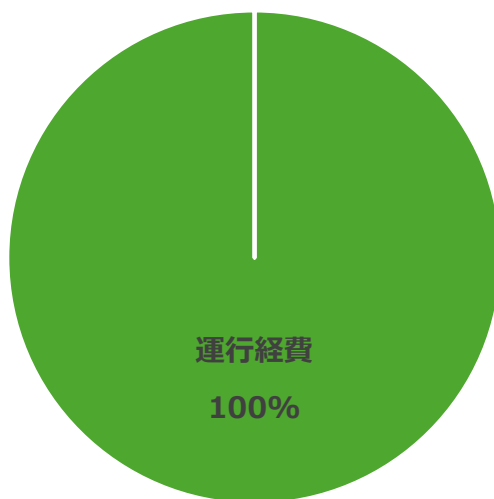
【受付時間9時～14時、配達時間15時～18時】
※宅配サービスは1日に限りがあります。ご了承ください。
※御不明点等はマルエツ平二丁目のサービスカウンターまで

「マルエツ」平二丁目店は、地域の足となる「つばめ号」を応援しています！

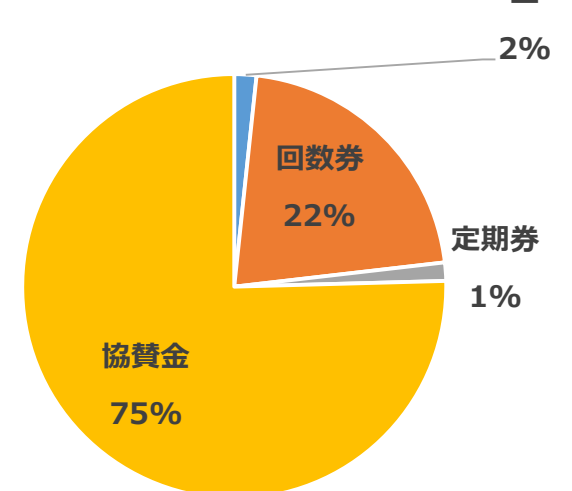
(1)-①. 収支について（1カ月あたりの収支）

- 収支率は約8割。
- 協賛金に大きく依存している状況は令和5年度と同様。

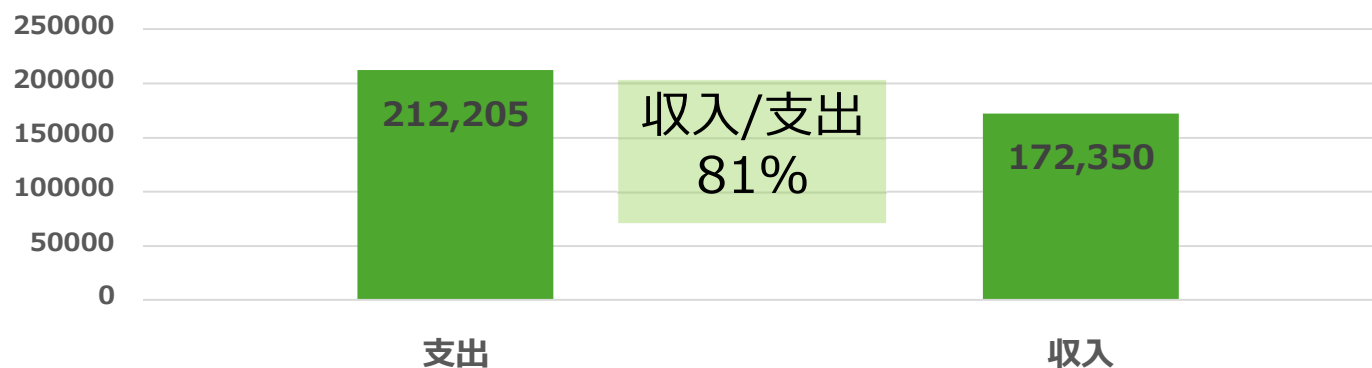
支出（1カ月あたり）



収入（1カ月あたり）



収支（1カ月あたり）



(1)-①. 外出づくりについて

延べ約570人の参加者(R5年度：約300人)

No.	日程	内容	開催場所	担当	地域コミュニティ 活性化に貢献	参加人数
1	4月22日	リフレッシュヨガ	向丘出張所	パル調剤薬局ヨガイストラクターnau様		10
2	5月13日	地域で見つける理想の介護施設	向丘出張所	ライフアシスト老人ホーム紹介事業部長 谷岡様		8
3	5月27日	ゴミ収集の現場から	向丘出張所	宮前生活環境事業所業務2係推進班 かわさきかえるプロジェクト		8
4	6月10日	理学療法士が教える脚の健康維持体操	向丘出張所	ここから訪問看護リハビリケア宮前平 山根様		30
5	6月24日	認知症予防の話と脳トレ体操	向丘出張所	鎌田クリニック看護師内田様、有吉様	運行実験期間外も つばめフレンズにより、 継続的に開催	37
6	7月8日	認知症予防の話と脳トレ体操	向丘出張所	鎌田クリニック看護師内田様、有吉様		48
7	7月22日	健康ボッチャ、楽しく健康チェック体験会	向丘出張所	損害保険ジャパン(株)、SOMPOひまわり生命(株) 交通政策室 本田係長、山田		37
8	8月5日	脳トレ折り紙教室	向丘出張所	向丘出張所 宮島課長補佐		32
9	8月26日	メイク講座	向丘出張所	デイサービスらいおんの手 吉川様		32
10	9月9日	高齢者のための簡単エクササイズ	向丘出張所	運動指導者 中村様（鎌田クリニック企画）		62
11	9月30日	ヘアアレンジ講座	向丘出張所	美容師 Mayumi様		11
12	10月7日	自分の足を知ろう	向丘出張所	天使のつめきり川崎メディカルフットケア 日比様（鎌田クリニック企画）		38
13	10月28日	草笛演奏会・体験会	高山団地集会所	草笛ピートルズ		11
14	11月11日	認知症予防の話と脳トレ体操	高山団地集会所	鎌田クリニック看護師内田様、有吉様		15
15	11月25日	交通安全教室	向丘出張所	宮前警察書交通総務課 中平様		15
16	12月9日	クリスマスのフラワーアレンジメント	向丘出張所	鎌田クリニック看護師内田様、有吉様		13
17	12月23日	クリスマスキャンドルヨガ	向丘出張所	パル調剤薬局ヨガイストラクターnau様		20
18	1月27日	高齢者のための簡単エクササイズ	向丘出張所	運動指導者 中村様（鎌田クリニック企画）		42
19	2月10日	ヨガ×ラジオ体操	平高山自治会館	パル調剤薬局ヨガイストラクターnau様		15
20	2月17日	カラダに優しいストレッチ体操	高山団地集会所	リアカホクラニ 林様、酒川様（鎌田クリニック企画）		30
21	3月10日	電動車いす市場と脳の健康チェック	向丘出張所	トヨタモビリティ神奈川、損害保険ジャパン(株)、SOMPOひまわり生命(株) 鎌田クリニック看護師内田様、有吉様		30
22	3月24日	心の歌の合唱	向丘出張所	音い-8 加賀様		33

(1)-①. 外出づくりについて



(1)-②. 麻生区片平地区「かきまる号」運行実験の概要について

1 目的

- 麻生区片平地区における町田市境付近の住民は、**生活拠点となる柿生駅までの高低差（約40m）の移動に苦慮**しており、その端末交通の確保に向けた取組。
- 令和6年度は、令和4年度の需要把握の深度化を目的としたトライアル運行の結果等を踏まえた有償の運行実験を行い、採算性の確保に向け取組みを進めた。

2 経緯

- 平成29年12月 協議会設立
- 令和04年10月 トライアル運行（令和05年2月まで）
- 令和05年度 トライアル運行結果検証
- 令和06年09月 有償での運行実験（令和06年12月まで）

3 令和6年度の運行実験における取組内容について

令和4年度のトライアル運行で確認された採算性や認知度等の課題を踏まえ、令和6年度は以下の取り組みを実施した。

- 居住地区や講座等の**時間帯に応じた経路設定による効率的な運行**。
- 地域の既存輸送資源である**タクシー事業者の車両を活用**。
- 固定収入やリピーターの獲得に向け、**定期券及び回数券を導入**。
- 地域企業等を主とした協賛パートナーを募るとともに、**地域住民からサポーターを募集**し、運賃外収入を確保。
- 認知度の向上や利用促進を目的とし、地元の病院や企業等と連携した**外出きっかけづくりイベントを実施**。
- **一部時間帯において、事前の電話予約**により、車両を縦走させ、乗車人数を拡充する仕組みを導入。

4 運行内容について

- 愛 称 かきまる号
- 運行形態 定時定路線（乗合い型）
- 運行期間 令和6年9月2日～令和6年12月27日
- 運行日 月曜日、金曜日
- 運行時間 9時～17時
- 運 賃 300円
1ヵ月定期券 3000円、11回綴りの回数券 3000円
- 乗車定員 4名（運転手除く）（一部、別途予約便あり）
- 運行事業者 コスモ交通株式会社



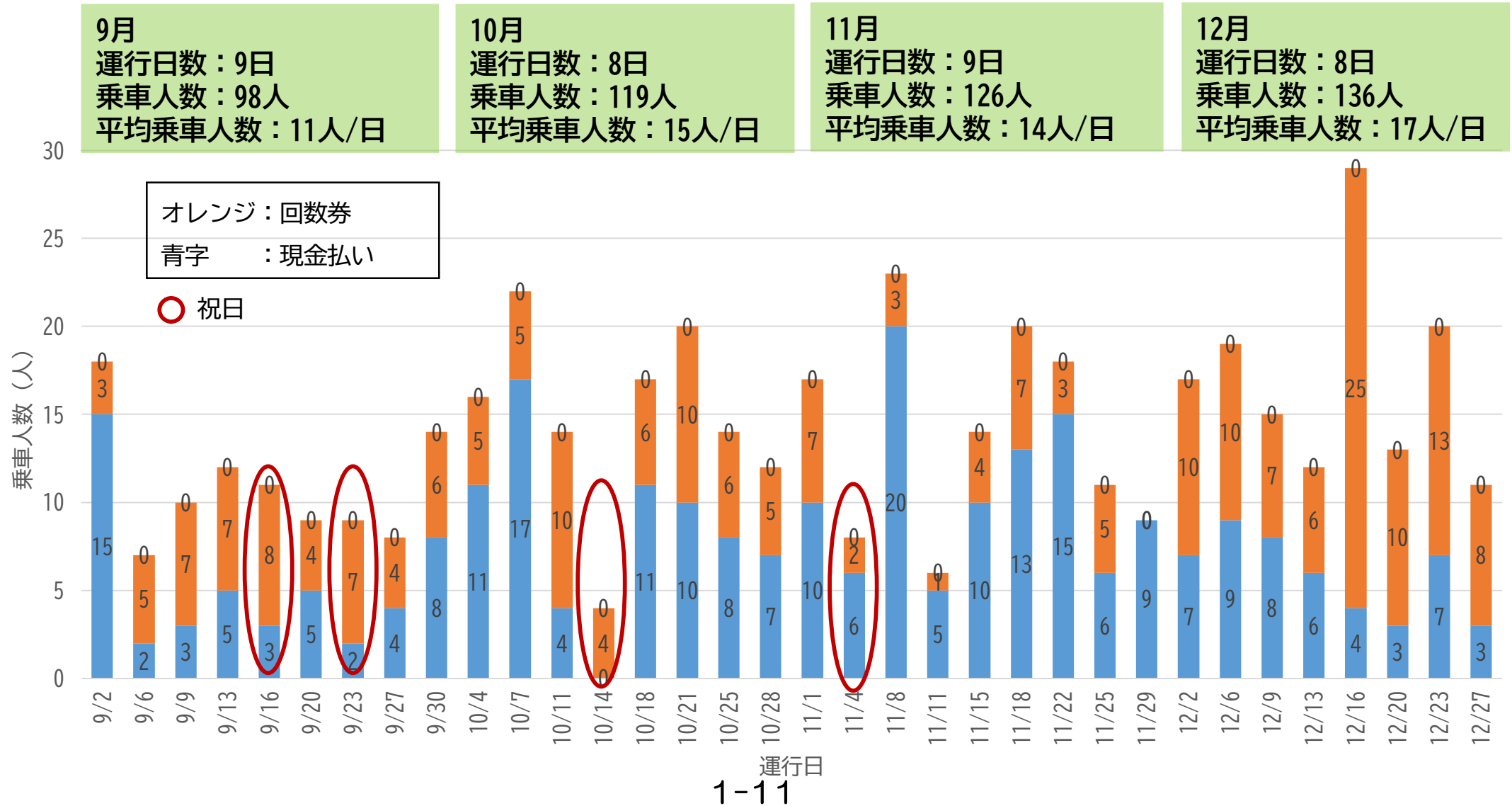
※今後、運行内容については変更する可能性があります。

5 今後のスケジュール

- 令和07年度中 本格導入に向けた運行実験の実施

(1)-②. 運行状況について

- 実験最終月の平均乗車人数は、約 17 人／日。祝日の乗車人数は少ない。
- 回数券の利用（オレンジ帯）が、増加傾向。
- 令和 4 年度の無料による実験と比較すると乗車人数は約 4 割。(R4:1,096人、R6:479人)

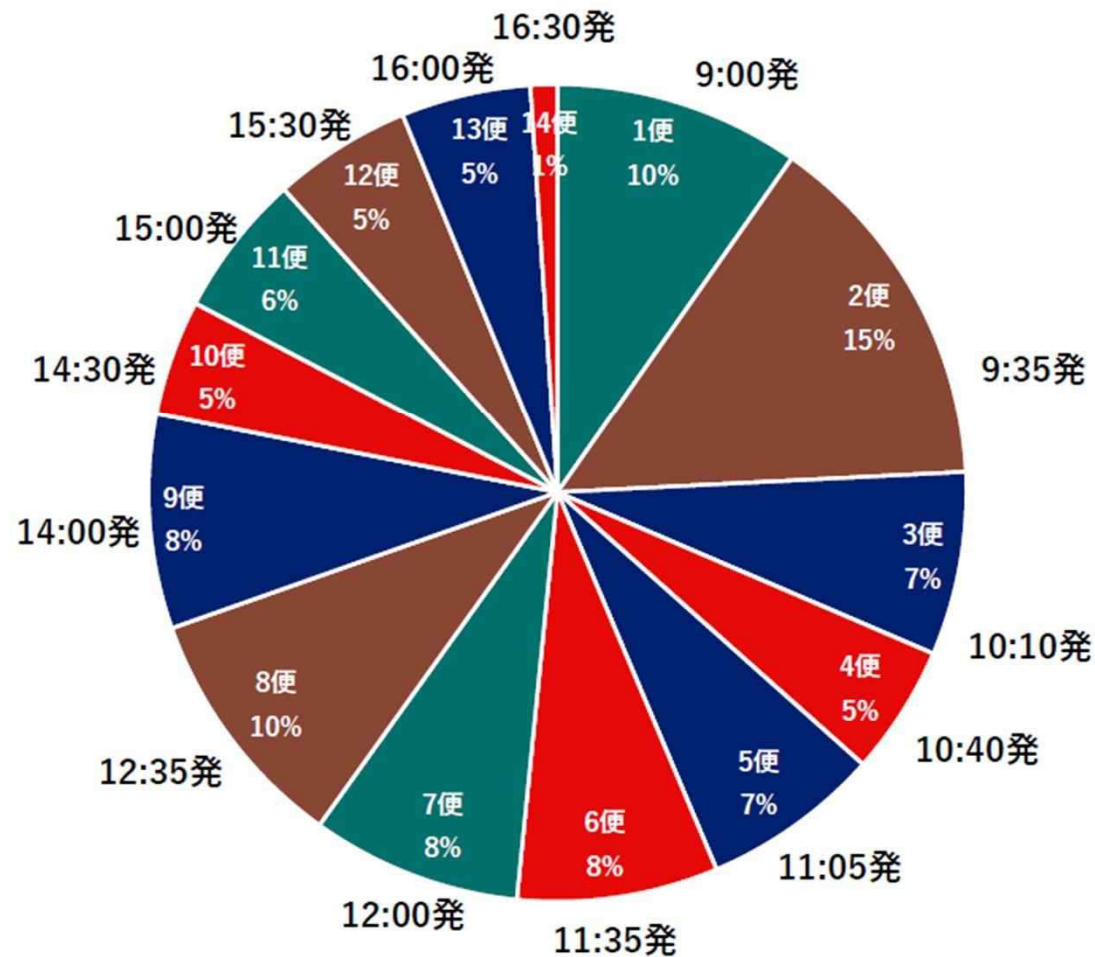


(1)-②. 運行状況について

- 9時～13時までの利用が約70%。
- 令和4年度の無料時と同様に夕方の利用は少ない傾向。
- 運行時間、ルート等、改良の余地はあり。

かきまる号 便別乗降割合

■ : Aルート ■ : Bルート ■ : Cルート ■ : Dルート



(1)-②. 協賛活動について

- ・ 実験期間中には8企業・団体様からの協賛を頂く。
- ・ 地域の多くの方々からサポーター募金を頂く。

【パートナー】

○Bプラン

- ✓ にもり内科クリニック 様
- ✓ 川崎清風霊園 様

○Cプラン

- ✓ しま薬局 様
- ✓ 柿生片平子ども食堂 様
- ✓ 柿生すずき内科・循環器内科 様
- ✓ 社会福祉法人一廣会 かないばら苑 様
- ✓ たわら薬局 様
- ✓ ともクリニック 様

○その他

- ✓ 医療法人社団総生会麻生総合病院様（イベント連携）
- ✓ 大平屋野村商店様（イベント連携、サポーター制度の応募先店舗）

【サポーター】

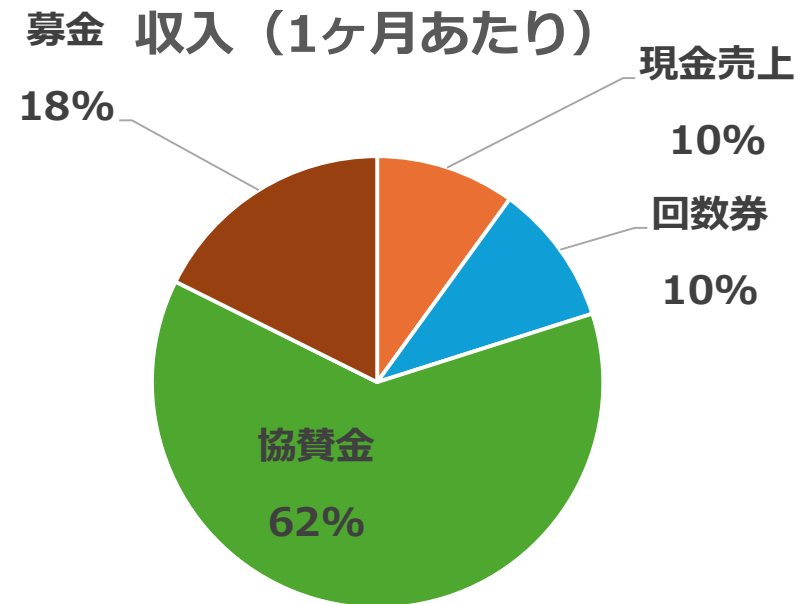
応募者数 59名



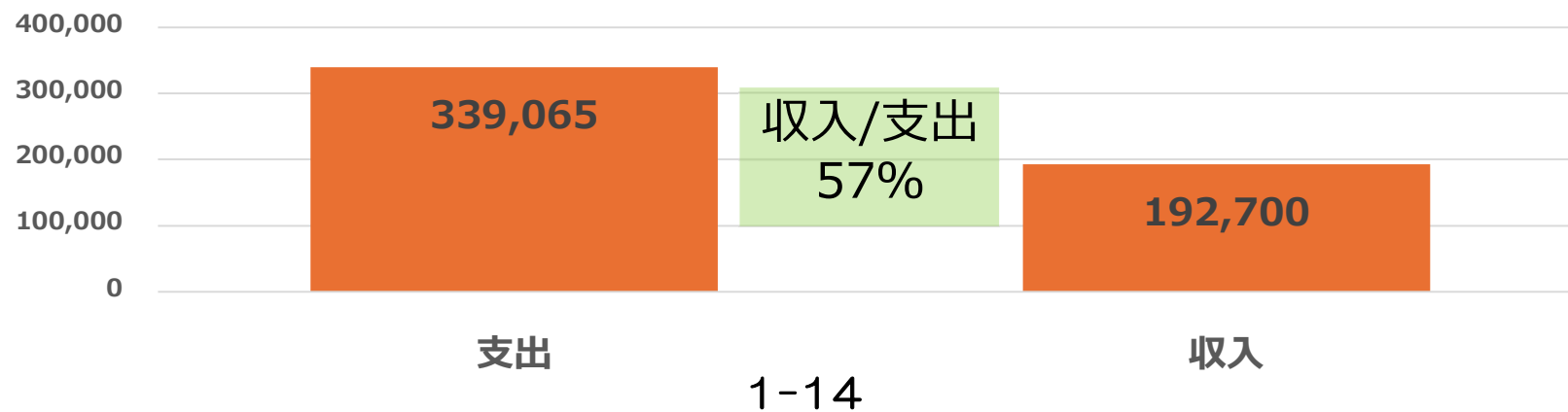
(1)-②. 収支について（1カ月あたりの収支）

- 収支率は約6割。
- パートナーからの協賛金に加えて、個人のサポーターからの募金が新たな成果。

支出（1カ月あたり）



収支（1カ月あたり）



(1)-②. 外出づくりについて

延べ約780人の参加者

No.	日程	内容	主催者	担当	参加人数
1	7月30日（火） 13時～15時	熱中症について～知って防ごう熱中症～	医療法人総生会麻生総合病院	救急総合診療部長 伊藤様	61
2	8月23日（金） 10時～11時30分	ロコモ予防体操教室	片平地域包括支援センター		21
3	9月2日（月） 10時～11時30分	「目指せ！5歳若く見える姿勢の体操教室」ー“家でできる体操のレシビ”のお土産付ー	かないばら苑訪問看護ステーション	理学療法士 杉山様	26
4	9月9日（月） 10時～11時30分	「太極拳で健康になろう！」ー“柿生コロバネーゼ”ー	柿生アルナ園地域包括支援センター	太極拳指導者 高野様	19
5	9月30日（月） 10時～11時30分	「気象災害から身を守ろう」ゲリラ豪雨、集中豪雨、台風 に備えて	片平地域包括支援センター	日本気象予報士会	33
6	10月7日（月） 10時～11時30分	カラダは食べ物からできている	片平地域包括支援センター	(株)明治	26
7	10月12日（土） 10時～17時00分	禅寺丸柿まつり ダーツゲームコーナー		片平地域コミュニティ交通推進協議会	308
8	10月21日（月） 10時～11時30分	知って得する！特養老人ホームってどんなところ？	片平地域包括支援センター	柿生アルナ園、片平長寿の里、金井原苑	42
9	11月11日（月） 10時～11時30分	「太極拳で健康になろう！」ー“柿生コロバネーゼ”ー	柿生アルナ園地域包括支援センター	太極拳指導者 高野様	22
10	11月18日（月） 10時～11時30分	骨とカルシウムの健康セミナー	片平地域包括支援センター	(株)雪印メグミルク	27
11	11月22日（月） 10時～11時30分	両手のぬくもりで安らぎを～痛いの痛いの飛んでいけ～ AIで歩行診断～自分を知って転倒予防～	片平地域包括支援センター	英国赤十字社セラピューティック・ケア (株)ヤマシタ	26
12	11月25日（月） 10時～11時30分	成年後見制度についてー“柿生コロバネーゼ”ー	柿生アルナ園地域包括支援センター	あんしんセンター	19
13	12月2日（月） 10時～11時30分	元アナウンサー直伝！正しい発声練習と脳トレ	片平地域包括支援センター	ハートスマイルマッサージ 野嶋様	32
14	12月6日（金） 10時～11時30分	脳が活性化するダンス 電動車いすの試乗イベント・脳の健康チェック	片平地域包括支援センター	損害保険ジャパン(株) トヨタモビリティ神奈川	20
15	12月9日（月） 10時～11時30分	「太極拳で健康になろう！」ー“柿生コロバネーゼ”ー	柿生アルナ園地域包括支援センター	太極拳指導者 高野様	23
16	12月16日（月） 10時～11時30分	楽しく食べて、健康に！	片平地域包括支援センター	キューピー(株)	29
17	12月20日（金） 10時～11時30分	脳が活性化するダンスⅡ	片平地域包括支援センター	損害保険ジャパン(株)	17
18	12月23日（月） 10時～11時30分	睡眠についてー“柿生コロバネーゼ”ー	柿生アルナ園地域包括支援センター	(株)ヤクルト	29

(1)-②. 外出づくりについて



麻生総合病院様による講座



トヨタモビリティ神奈川様による
電動モビリティ乗車体験会



SOMPOひまわり生命様による健康測定



損害保険ジャパン様による脳ダンス

(1)-③. 多摩区生田山の手地区「山の手号」の運行実験の概要について

1 目的

- 生田駅北側の高台に居住する住民の買い物等の移動の課題解決と、ドライバー不足等による限られたタクシー車両での輸送の効率化をの課題解決に向けて取り組む。

2 経緯

- 令和元年11月 協議会設立
- 令和4年2月 オンデマンド交通実証実験（令和4年4月まで）
- 令和6年3月 あいのりタクシー「山の手号」実証実験（令和6年9月まで）

3 令和6年の運行内容について

- 愛称 山の手号
- 運行期間 令和6年3月25日～令和6年9月30日
- 運行日 毎日
- 運行時間 8時～21時
- 運賃 1人の場合500円/人、2人の場合250円/人
- 乗車定員 2人
- 運行事業者 生田交通株式会社

① 乗車場所：生田交通タクシー乗場

Aルート降車場所	A 土漕不動尊駐車場
Bルート降車場所	B 生田小ブルー横
Cルート降車場所	C サニーハイツ前



あいのりタクシー「山の手号」の乗り方

- 1 相乗りを希望する方は、希望する降車場所が記載された相乗りの札を持って列に並び。
- 2 相乗りの札を持った人が先頭になった際に、後方で同じ降車場所の相乗りの札を持っている人がいれば相乗り乗車。
- 3 ご乗車は、1便あたり最大2名まで。後部座席中央は1席空けてご乗車ください。



4 見えてきた課題

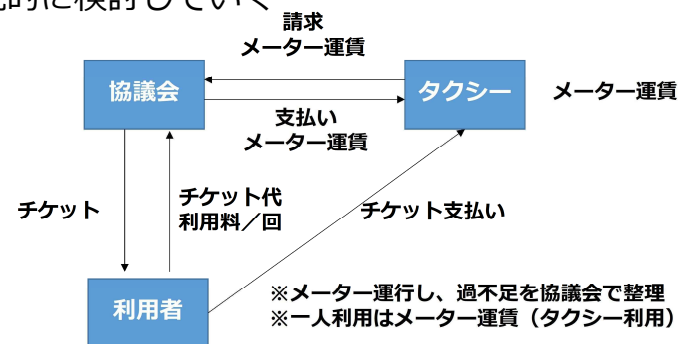
約半年の実証実験で利用者数は延べ30名と伸び悩んだ。見えてきた課題点としては、

- 複数コース設定（距離按分の原則）によるマッチングの難しさ。
- タクシー利用と捉えた場合、降車場所と目的地が離れている場合メリットが感じられない。

複数コースの設定により、利用者が分散してしまう状況が散見され、乗客を束ねる仕組みが必要である。

5 改善に向けた取り組み

- 上記の手法により、目的地を経由する一筆書きの経路として需要を束ねる方策を試行してく
- エリア内どこでも降車できる運行形態
- 協議会がタクシーと利用者の間に入り運営することにより、利用者は均一料金、運行事業者はメーター運賃を収受する仕組みを試行
- 将来的には、タクシー事業者にもメリットを創出できるような手法を継続的に検討していく

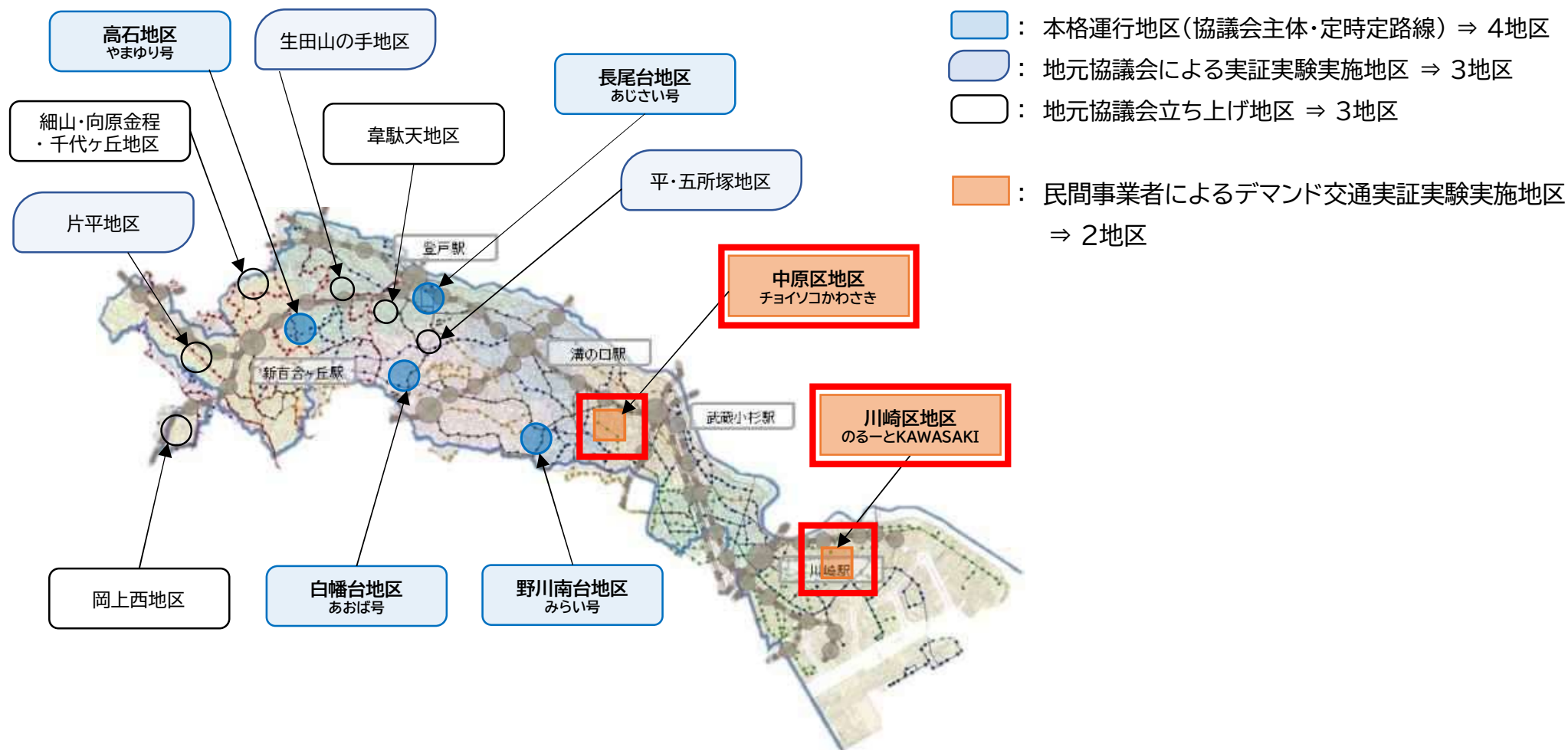


※メーター運行し、過不足を協議会で整理
※一人利用はメーター運賃（タクシー利用）

6 今後のスケジュール

- 令和07年秋～ 新たな手法で運行実験の実施

(2) 民間事業者による 新技術・新制度を活用した取組について【オンデマンド型】



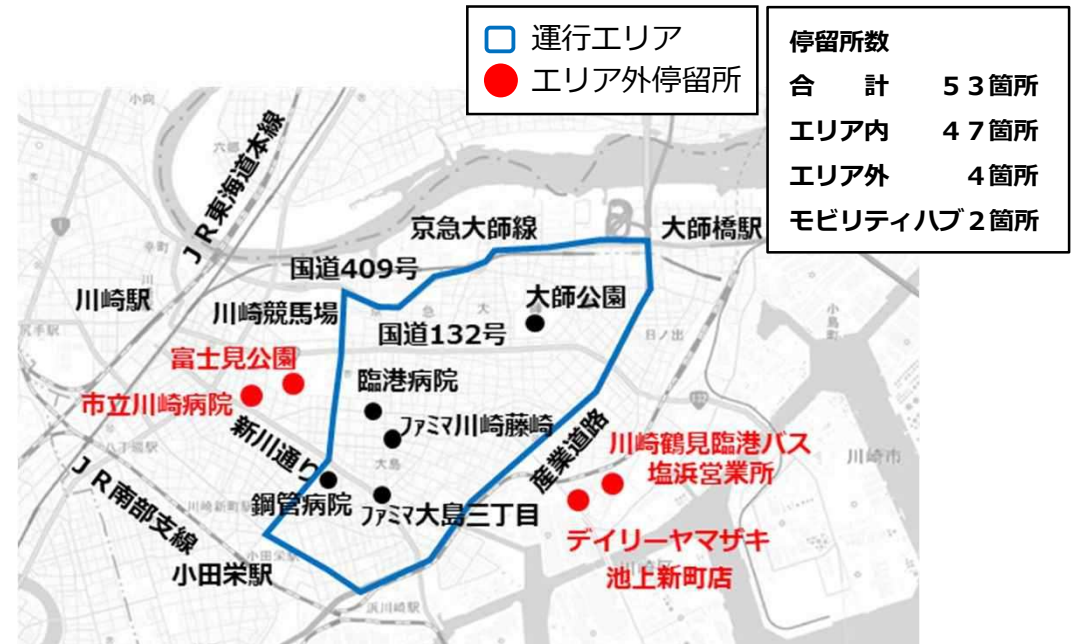
運行概要

「のるーとKAWASAKI」

川崎市臨海部横断軸を意識した運行により市民の方々の交通手段の拡張

- ・ 実施主体 川崎鶴見臨港バス株式会社
- ・ 運行形態 予約による乗合送迎サービス
- ・ 運行期間 令和6年10月1日(火)～
令和7年1月31日(金)
- ・ 運行日 平日及び土曜日の週6回運行
- ・ 運行時間帯 8時から19時まで
- ・ 運賃 500円(小児250円)
- ・ 決済方法 現金、各種電子マネー(交通系など)

- ・ 運行事業者 川崎鶴見臨港バス
- ・ 車両台数 2台
- ・ 乗車定員 8名
- ・ 予約方法 専用アプリ、LINE、タブレット



運行結果

「のるーとKAWASAKI」

利用者人数と会員ID

- ・利用者数は**無償時の約1/6**の結果となった。
- ・会員数は**女性が55%、男性が40%**、年齢層については**30、40代での利用が多い**結果となった。
- ・時間帯では**10時台が多く、17時以降少ない**傾向となり、**水曜日、金曜日**での利用が多かった。

利用者数合計：1,183人(約11.8人/日)
利用している会員ID数：219人
(女性_55% 男性_40% 無回答_6%)

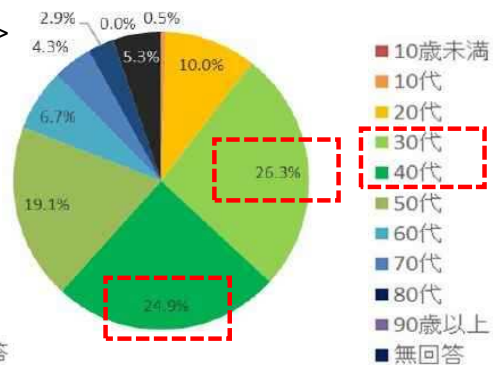
<月別利用者数>



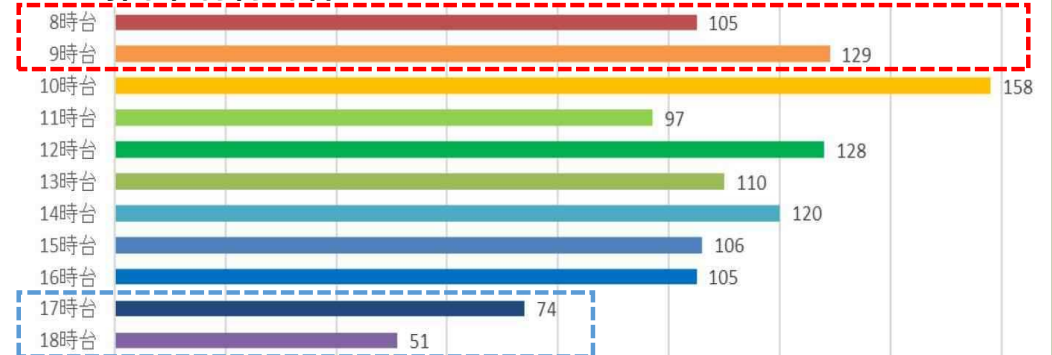
<性別>



<年代>



<時間帯別利用者>



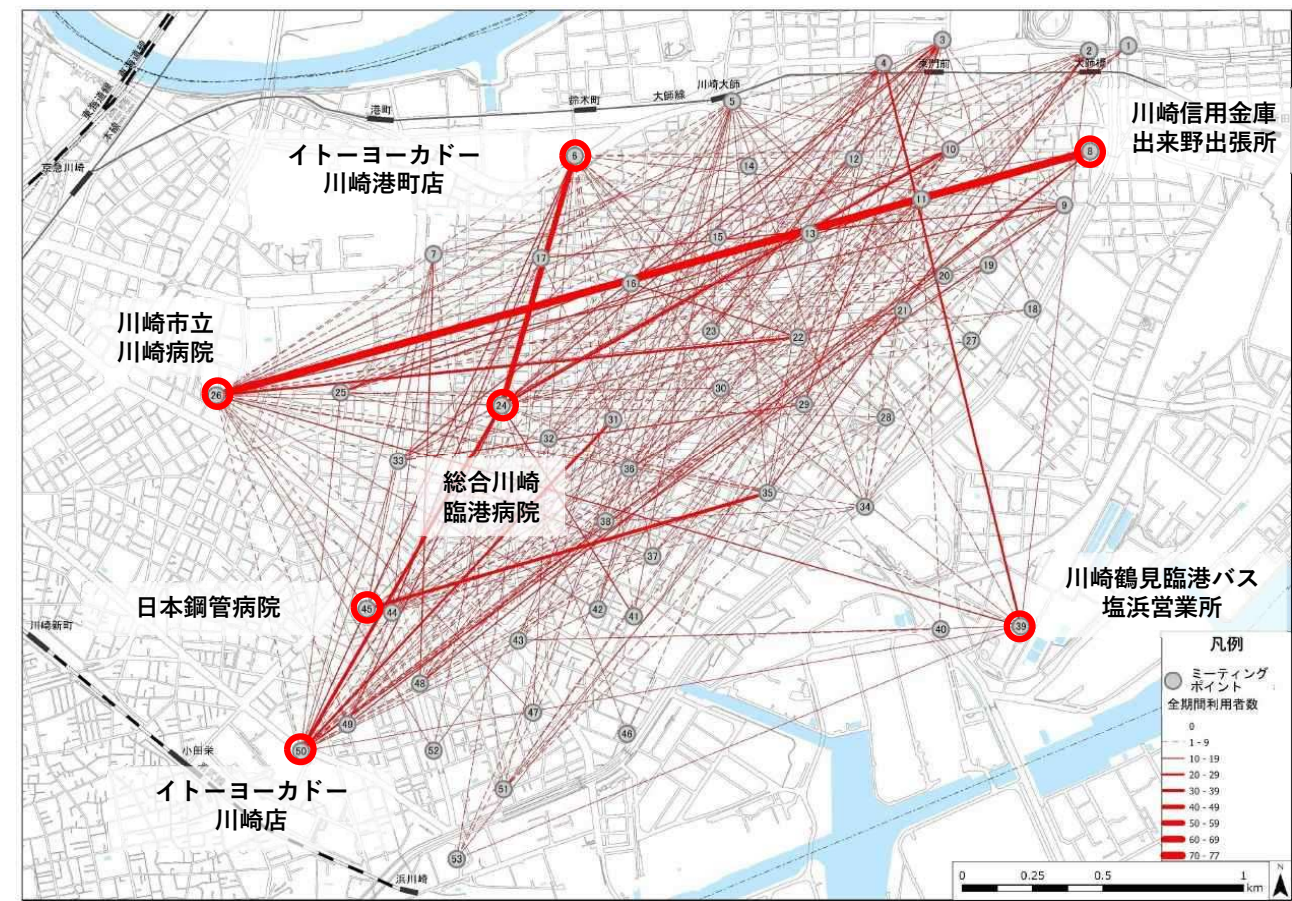
<曜日別利用者>



運行結果

「のるーとKAWASAKI」

全期間の移動動線



順位	乗車が多かった区間
1 位	川崎信用金庫出来野出張所 ⇒川崎市立川崎病院
2 位	川崎市立川崎病院 ⇒川崎信用金庫出来野出張所
3 位	イトーヨーカドー川崎港町店 ⇒総合川崎臨港病院
4 位	総合川崎臨港病院 ⇒イトーヨーカドー川崎港町店
5 位	イトーヨーカドー川崎店 ⇒総合川崎臨港病院

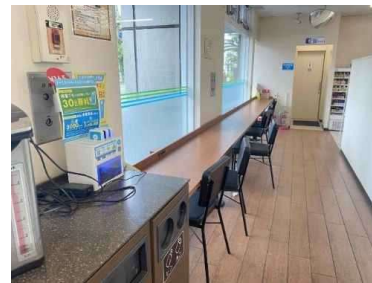
運行結果

「のるーとKAWASAKI」

モビリティ・ハブの取組

R6年度は新たな2つの取組を行った。

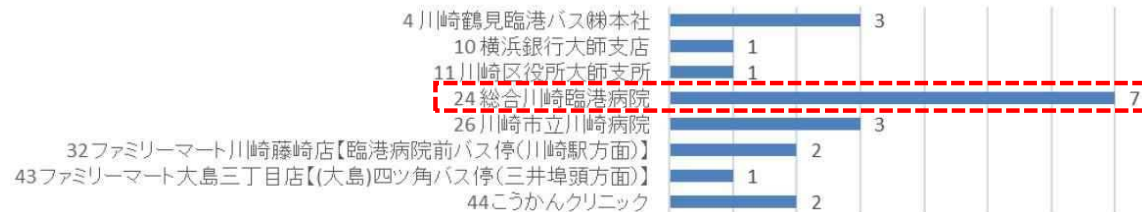
- 利用の多い病院など停留所（8か所）へ会員登録なしで予約できる**タブレット端末を設置**
- 地域の**コンビニ等と連携し**、待合所として利用できる**「モビリティ・ハブ」を設置**



<ファミリーマート川崎藤崎店>



<臨港病院>



コンビニではイートインスペースを待合所として設置。病院ではタクシーの配車電話と並ぶ入り口付近に設置。

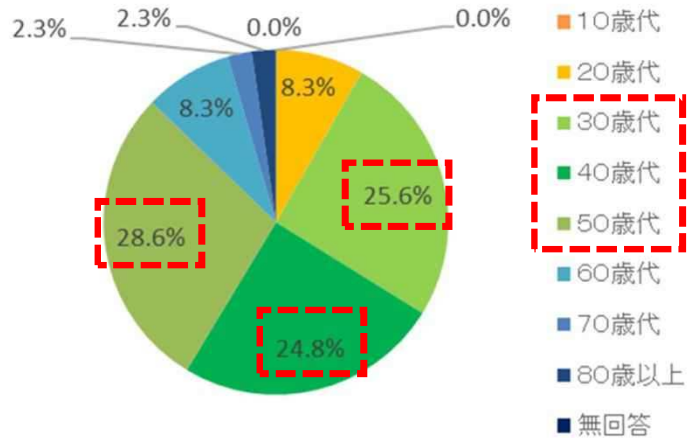
臨港病院での利用が一番多く、次に川崎病院と少ない中でも医療機関での需要が見られた。

- ・ **予約件数は46件、その内乗車件数は20件(43.5%)**であった。
- ・ 利用箇所については臨港病院での利用が一番多い結果となり、アンケートでは「**予約のしやすさ**」への満足度が高く、会員登録がないことが要因と思われる。

アンケート結果

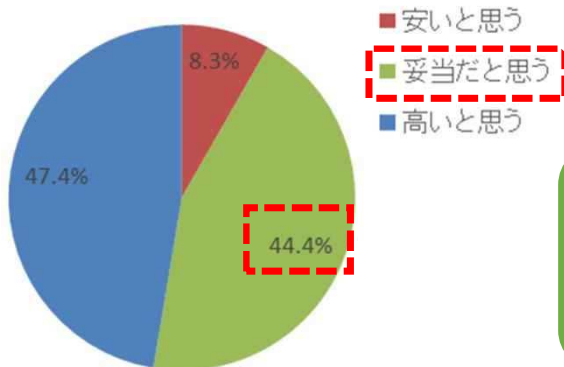
「のるーとKAWASAKI」

1) 年齢



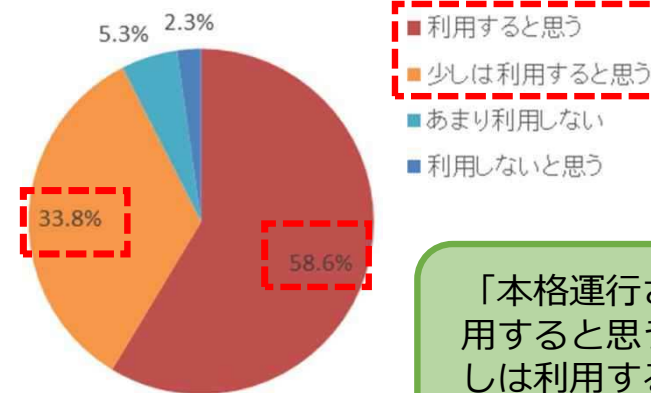
利用者同様、30・40代の回答が多く、次に50代が多い。

2) 運賃は妥当だと思うか？



「妥当だと思う」と「高いと思う」という回答がほぼ同じ割合であった。

3) 本格運行されたら利用するか？



「本格運行されたら利用すると思う」と「少しは利用すると思う」という回答が多い。

4) 本格運行された場合の利用頻度は？



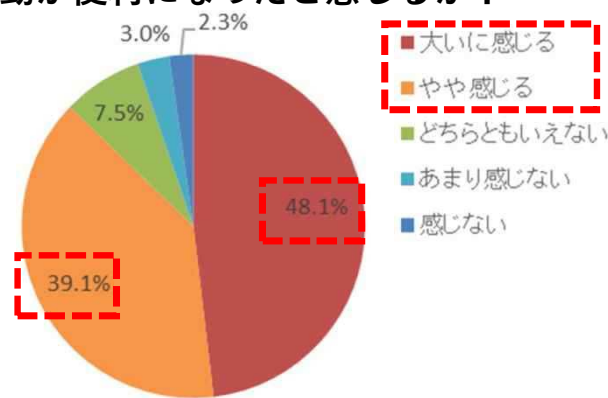
アンケート結果

「のるーとKAWASAKI」

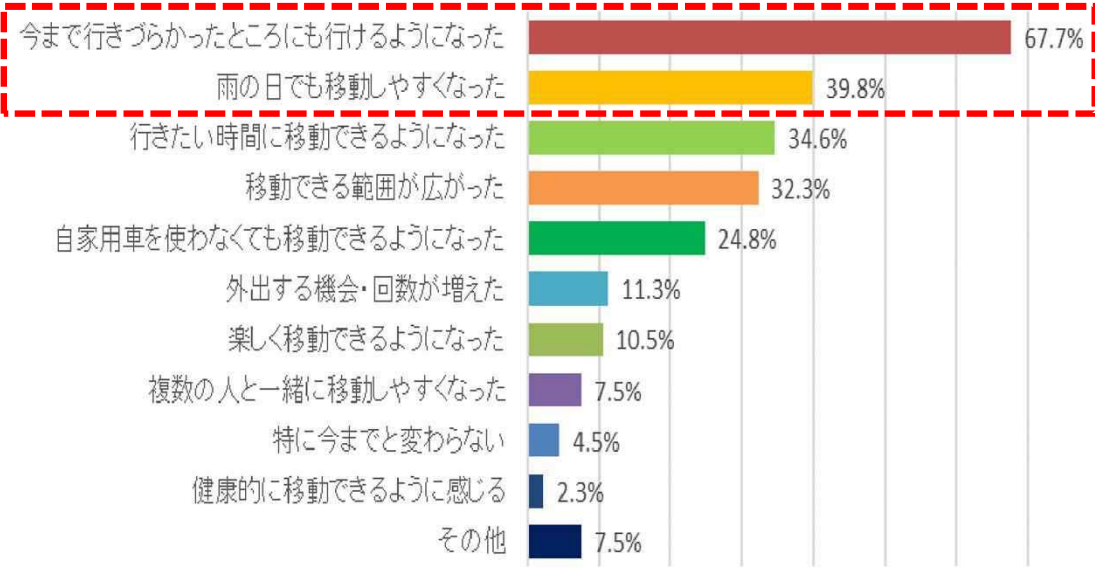
5) 利用した目的は？



6) 移動が便利になったと感じるか？



7) どの様なところが便利になったか？



「大いに便利になったと感じる」と「やや便利になったと感じる」とする回答が多かった。

のるーとの運行により、「今まで行きづらかった所にも行けるようになった」や「雨の日でも移動しやすくなった」との回答が多かった。

運行概要

「チョイソコかわさき」

路線バスが利用しづらいエリアにおける駅、病院、スーパー、公共施設への移動できる新たな交

- ・ 実施主体 株式会社アイシン
- ・ 運行形態 予約による乗合送迎サービス
- ・ 運行期間 令和6年11月1日(月)～
令和7年1月31日(金)
- ・ 運行日 平日の週5運行
- ・ 運行時間帯 10時から22時まで
- ・ 運賃 500円
- ・ 決済方法 現金、各種電子マネー(交通系など)



- ・ 予約方法 LINE、WEB
- ・ 運行事業者 平和交通、ひまわり交通、川崎タクシー
- ・ 車両台数 2台
- ・ 乗車定員 4名

停留所数	
合 計	72箇所
エリア内	61箇所
エリア外	8箇所
モビリティハブ3箇所	

	運行エリア
	エリア外停留所



試験走行結果

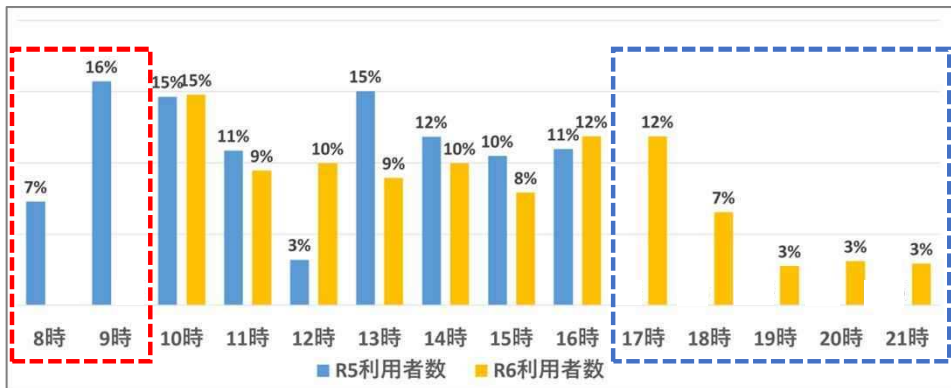
「チョイソコかわさき」

登録者数と利用者数

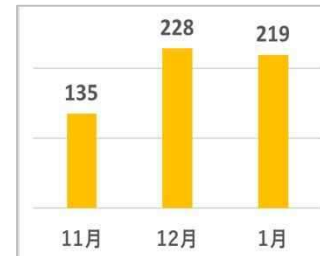
- ・会員登録者、利用者数ともに30代・40代の利用が多く、女性が約8割、男性が約2割と女性の割合が高い。
- ・時間帯では18時以降少ない傾向となり、平日は曜日に関わらず利用者が安定していた。

利用者数合計： 527人（約9.4人/日）
（女性79% 男性19% 無回答2%）
LINEお友達：1,182人
会員登録者：696人（内利用者:146人）

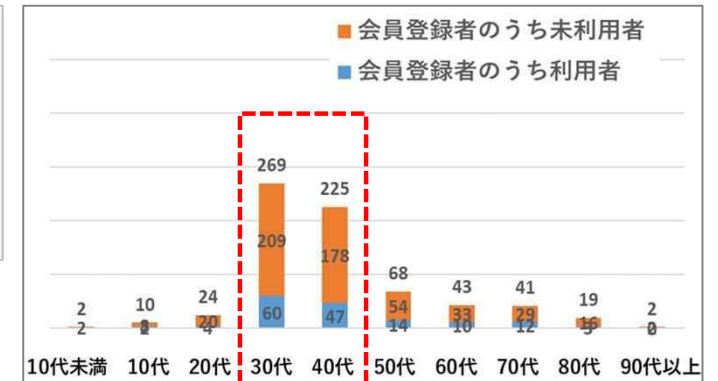
<時間帯別利用者>



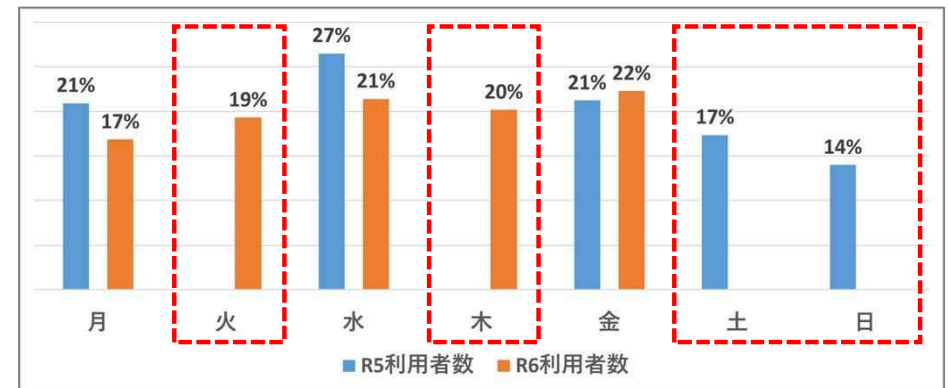
<月別利用者数>



<会員登録者・利用者数>



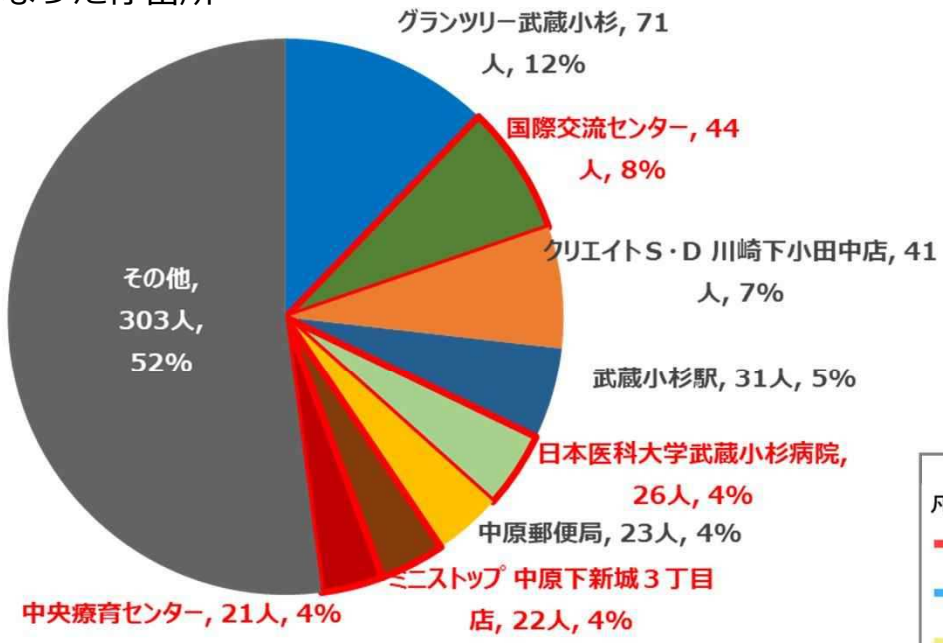
<曜日別利用者>



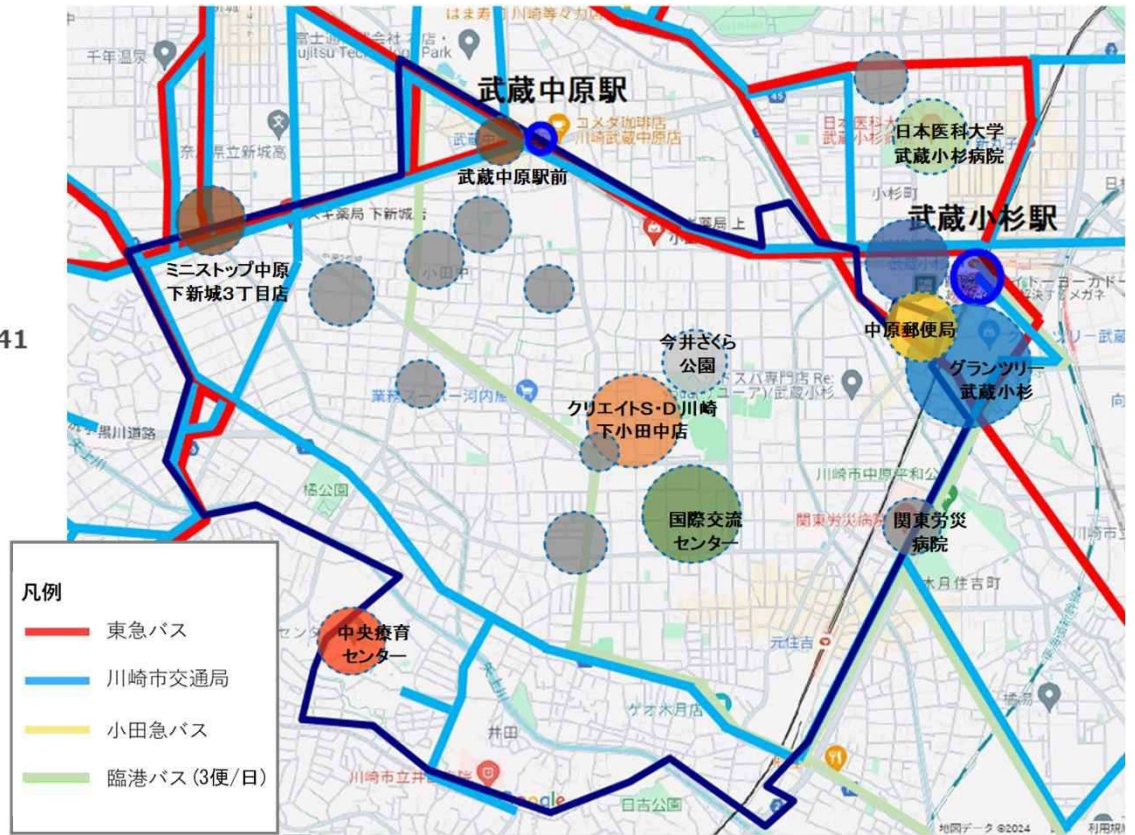
実験結果

「チョイソコかわさき」 ミーティングポイント別乗者数マップ

※赤枠赤字…
R6で新規に上位と
なった停留所



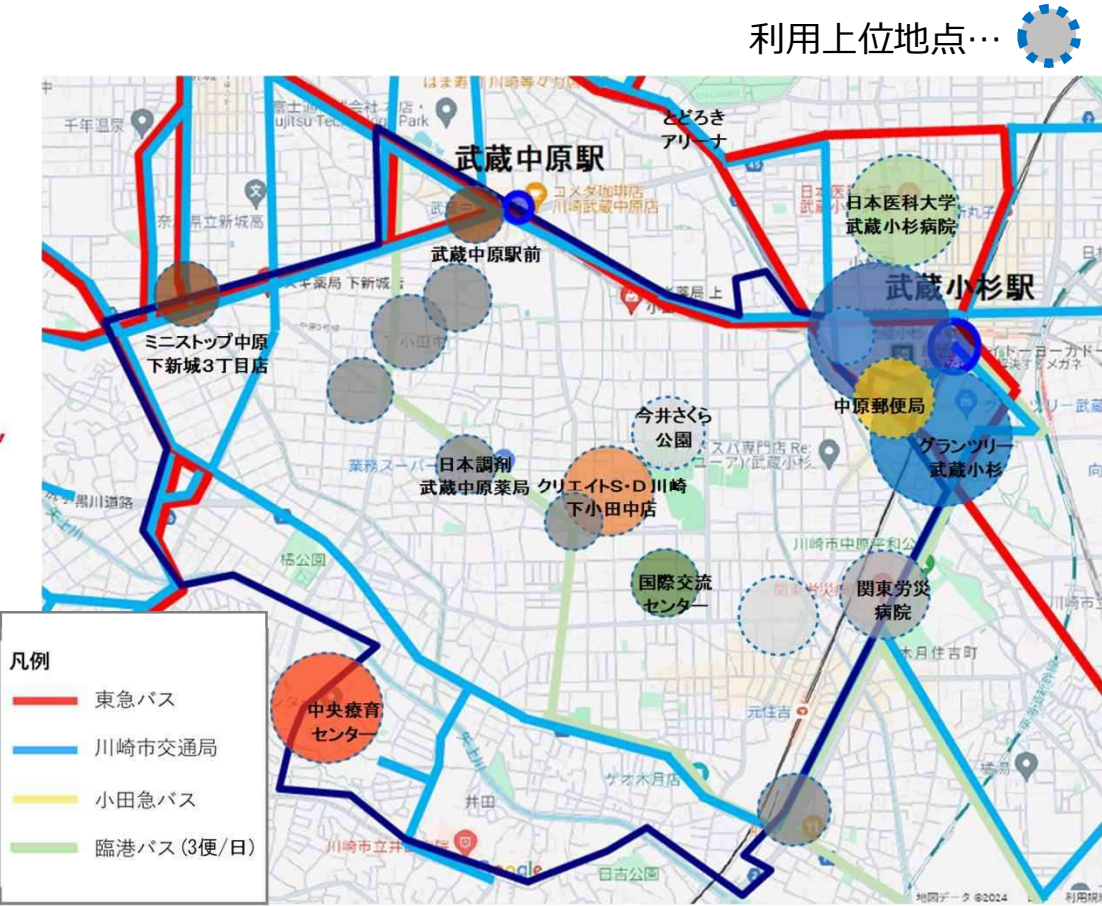
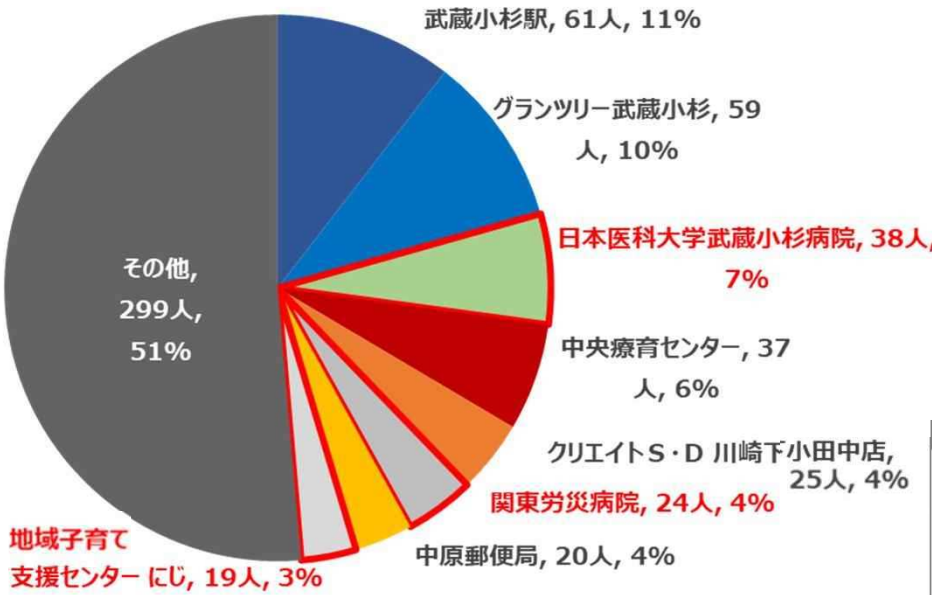
利用上位地点…



実験結果

「チョイソコかわさき」 ミーティングポイント別降者数マップ

※赤枠赤字…
R6で新規に上位と
なった停留所



実験結果

「チョイソコかわさき」

モビリティ・ハブの取組

- ・『モビリティ・ハブ』の機能として、ウエインズトヨタ中原店にはシェアサイクルを設置
- ・ウエインズトヨタ加瀬店にはシェアサイクルと宅配ボックスを設置

●宅配ボックス

利用実績(カッコ内は日当たり)

	ボックス数	12月	1月	合計
加瀬店	11	27 (0.9)	40 (1.3)	67 (2.1)

一定のニーズは確認できたが、設置場所問題を解決するのは困難である（関係機関への許可取り、店舗セキュリティなど）

＜ウエインズトヨタ神奈川加瀬店＞



●シェアサイクル ※11月稼働日数：5日 利用実績(カッコ内は日当たり)

	ラック数	11月	12月	1月	合計
加瀬店	2	19 (3.8)	182 (5.9)	162 (5.2)	363 (5.4)
中原店	6	14 (2.8)	140 (4.5)	137 (4.4)	291 (4.3)

加瀬店は日吉、新川崎駅から離れた場所であり、周辺のステーション数も市内で比較すると少ないためニーズが高かったものと推測される。

＜ウエインズトヨタ神奈川中原店＞



- ・ 宅配ボックスならびにシェアサイクルの採算性の確保ができる利用回数が不明な状態のため、成果を判断するのは難しいが、カーディーラーの新しいサービスとして車販以外の価値を見出すことができた。
- ・ 遊休スペースの有効活用という点で宅配ボックスやシェアサイクルは秀逸なコンテンツだと考える。

実験結果

「チョイソコかわさき」

モビリティ・ハブの取組

『モビリティ・ハブ』の活用として、ウエイズトヨタ中原店・北加瀬店・加瀬店の3店舗で、ヨガ：12回、ダンス：12回、ボッチャ：2回、プログラミング：12回の合計38回のイベントを実施

<ダンス教室(小学生)>

・エイベックス・ダンスマスターのインストラクターによる体験、かっこいHIPHOPダンスの基本ステップなどにチャレンジ



<ヨガ教室(大人)>

・オンラインによる初心者の方や運動が苦手な方でも無理なく行えるヨガ教室



<プログラミング教室(小学生)>

・大人気のマイクラフトを使った60分のプログラミング体験
・プログラミングの基礎を楽しみながらPCの基礎操作なども習得



<ボッチャ(大人+子ども)>

・パリや東京でのパラリンピック正式種目のボッチャを小さな子供からシニアまで一緒に楽しめるスポーツ体験



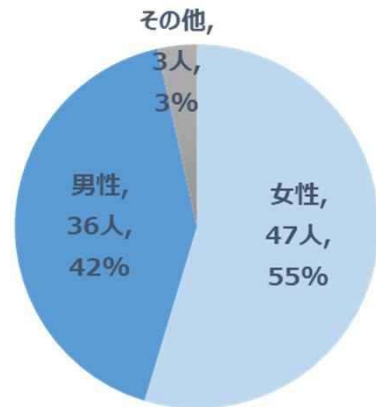
- ・ プログラミング教室については早期に全ての回が満員となり、非常に人気が高い傾向にあった。一方ダンス・ヨガに関しては時間帯等が合わず多くの利用は見られなかった。
- ・ 参加者の意見としては、普段できない貴重なイベントに参加できたなど満足度が高い結果となった。

アンケート結果

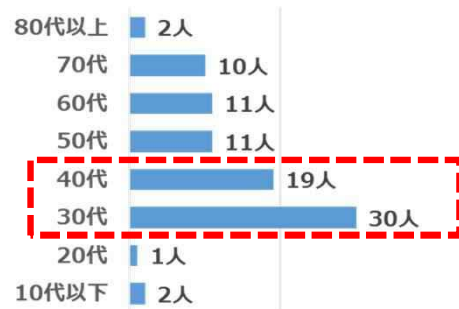
「チョイソコかわさき」

LINE友だちアンケート ①デマンド運行について(回答数：86名)

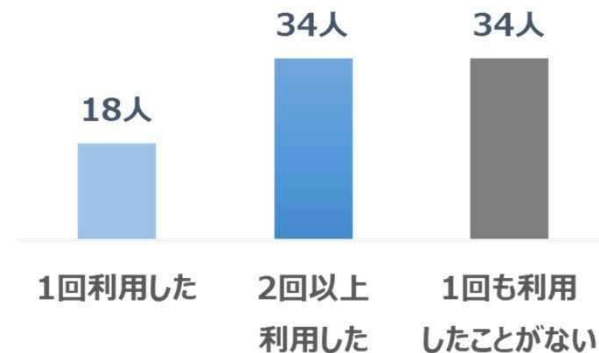
1) 性別



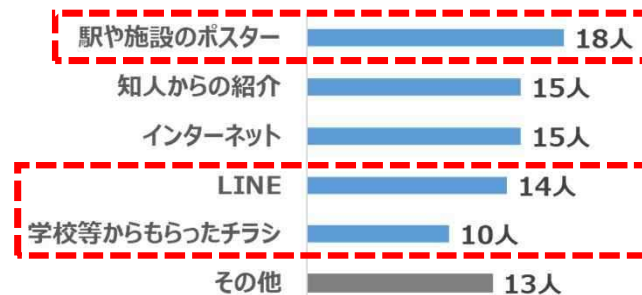
2) 年齢



3) チョイソコの利用有無



4) チョイソコかわさきをどこで知りましたか？



5) ご利用有無にかかわらず、毎月運行を継続する場合の地域から許容負担費用

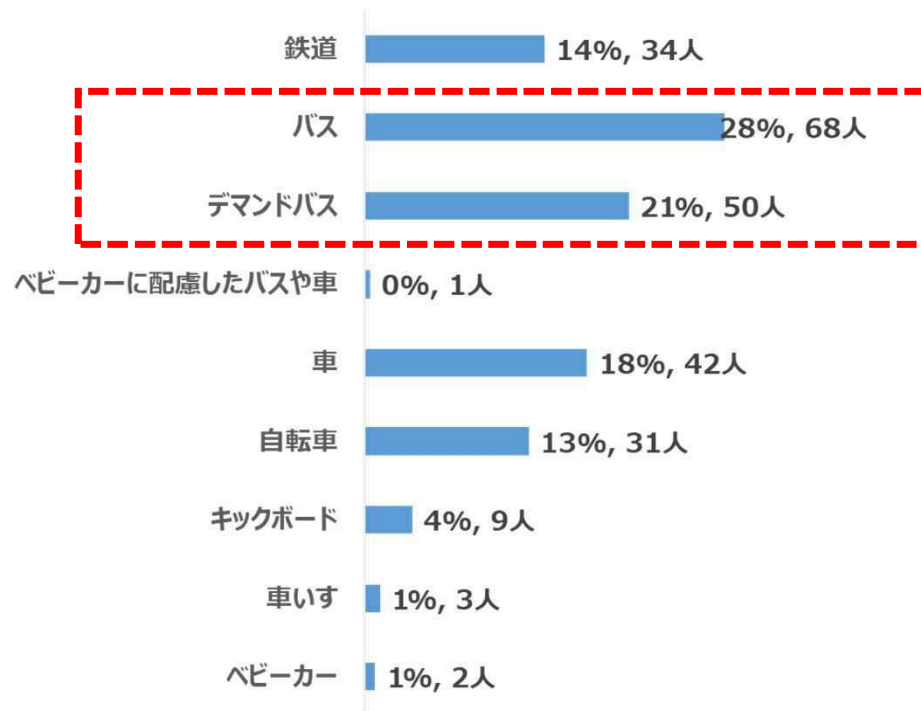


アンケート結果

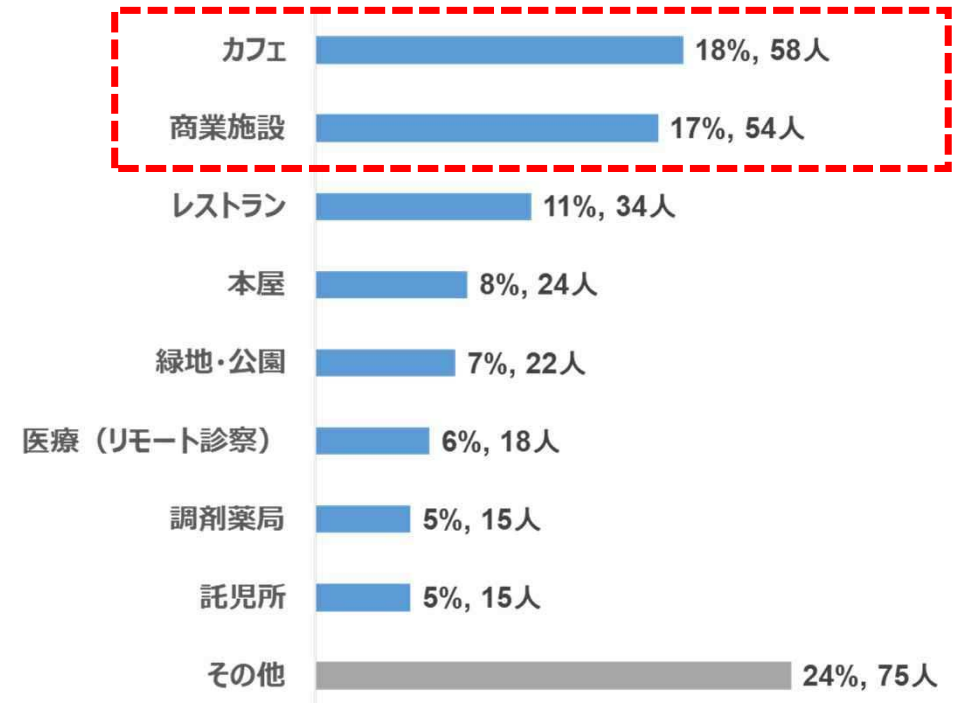
「チョイソコかわさき」

LINE友だちアンケート ①デマンド運行について(回答数：86名)

6) モビリティ・ハブで活用したい移動手段は？



7) モビリティ・ハブにあったら良いものは？



2 今年度実施予定の協議会を主体とした コミュニティ交通の取組について【報告事項】

- (1) 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の運行実験について
- (2) 麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の運行実験について
- (3) 多摩区生田山の手地区コミュニティ交通「ぺあたく山の手号」の運行実験について

2-(1). 宮前区平地区コミュニティ交通「つばめ号」の運行実験について

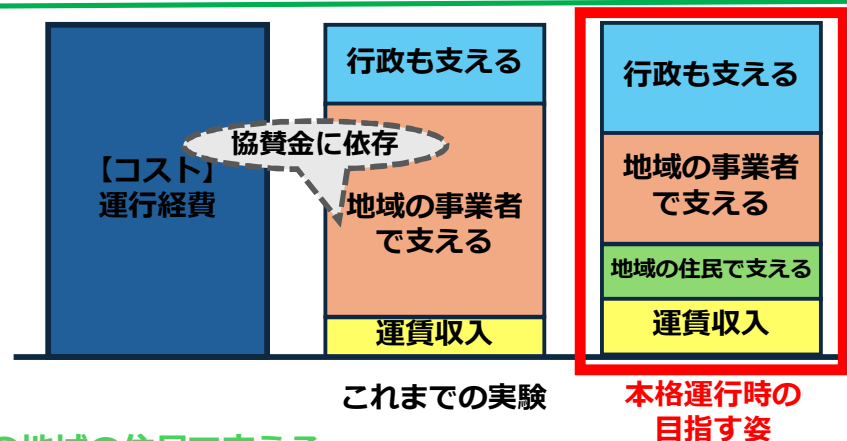
1 目的

- 高山団地をはじめとする高台の住民は、路線バスのバス停や生活利便施設が立地する麓のバス通りまでの高低差（約50m）の移動に苦慮しており、その末端交通の確保に向けた取組。
- **令和7年度は、地元協議会が主体となり、事業性の確保に向けた有償の運行実験**を行い、地域全体で支える地域交通を確立し、**持続的な本格運行の実現に向け取組む**。

2 経緯

- 平成29年8月 協議会設立
- 令和4年11月 トライアル運行（令和05年3月まで）
- 令和5年10月 有料による運行実験（令和06年2月まで）
- 令和6年10月 2度目の有償の運行実験（令和07年3月まで）

3 令和7年度の運行実験における取組内容について



○地域の住民で支える

- ・ 個人サポーター（協賛）制度の導入
- ・ ユニークユーザー数の増加に向けた取組

○地域の事業者で支える

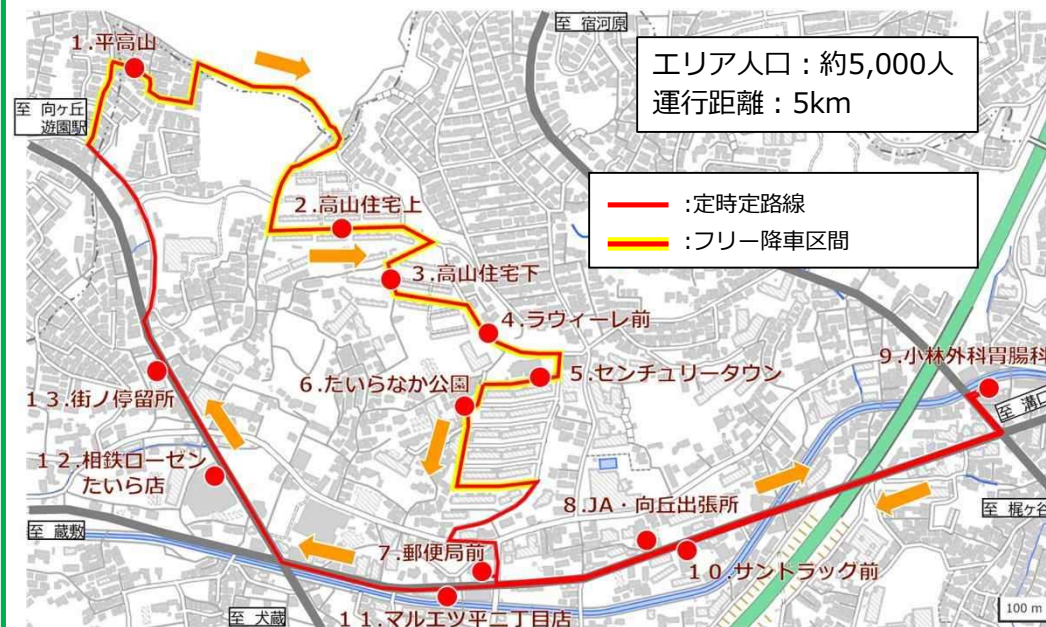
- ・ 協賛事業者の裾野拡大に向けた取組

○地域の取組に応じて行政も支える

- ・ 本格運行時の支援（補助金）の検討

4 運行内容について（※現在調整中）

- 愛称 つばめ号
- 運行形態 定時定路線（乗合い型）
- 運行期間 令和7年秋～
- 運行日 週2日
- 運行時間 10時～14時
- 運賃 11回綴りの回数券2000円、定期券2000円/月
現金300円
- 乗車定員 4名（運転手除く）
- 運行事業者 東栄興業株式会社



※今後、運行内容については変更する可能性があります。

5 今後のスケジュール

- 令和07年度中 本格導入に向けた協議・調整
- 令和08年度 本格運行開始

2-(2). 麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の運行実験について

1 目的

- 麻生区片平地区における町田市境付近の住民は、生活拠点となる柿生駅までの高低差（約40m）の移動に苦慮しており、その端末交通の確保にむけて取組む。
- **令和7年度は**、令和6年度の有償による運行実験の結果を踏まえ、**運行の効率化、運行経路の簡略化、地域との更なる連携**を図り、事業性の確保に向けて取組む。

2 経緯

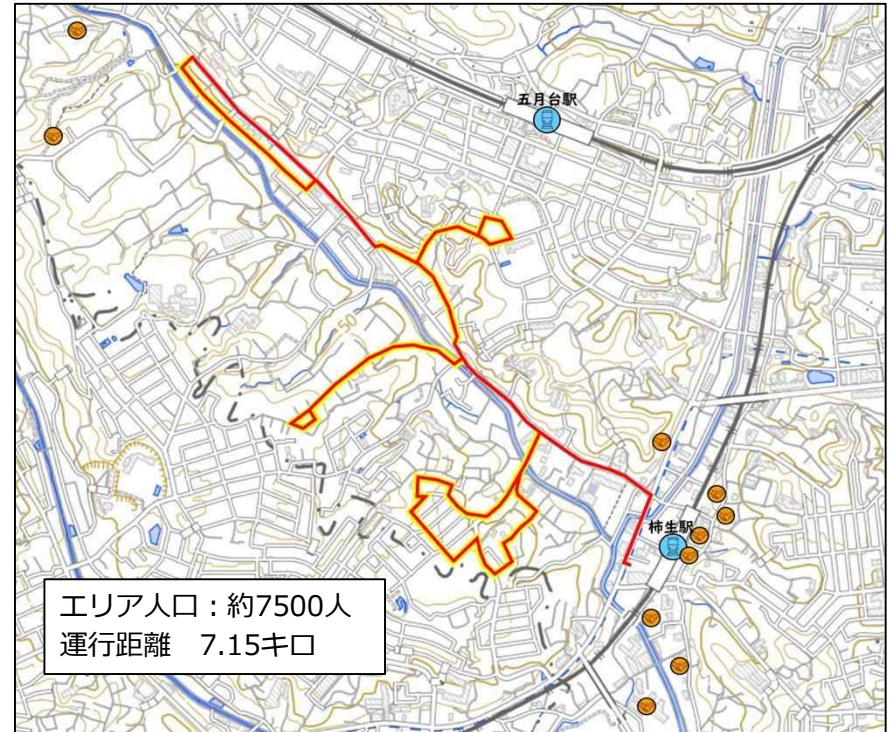
- 平成29年12月 協議会設立
- 令和4年10月 トライアル運行（令和5年2月まで）
- 令和6年09月 有償による運行実験（令和6年12月まで）

3 令和7年度の運行実験における取組内容について

- 運行時間を利用の多い時間帯に絞り込み、**運行の効率化**を図る。
- **運行経路を1つ**とし、複数ルート時の**需要分散、運行頻度減少**を解消を目指す。
- **回数券**利用率の向上に向け、**販売場所及び販売機会の拡大**。
- 地域の事業者等を主とした**協賛パートナーの裾野の拡大**。
- **商店会との連携**し、加盟店舗への**ポスター掲示**や**チラシ配架**の実施やその他の連携を促す。
- 認知度の向上や利用促進を目的とし、地元の病院や企業等と連携した**外出のきっかけづくりイベント**を継続して実施。
- 利用促進に向け、簡易的かつ地域に受け入れやすい**複数回利用時の特典付与**などを検討。

4 運行内容について（※現在調整中）

- 愛称 かきまる号
- 運行形態 定時定路線（乗合い型）
- 運行期間 令和7年秋～
- 運行日 週2日
- 運行時間 9時～15時（昨年度の9時～17時から絞り込み）
- 運賃 300円
1ヵ月定期券 3000円、11回綴りの回数券 3000円
- 乗車定員 4名（運転手除く）
- 運行事業者 コスモ交通株式会社



※今後、運行内容については変更する可能性があります。

5 今後のスケジュール

- 令和07年秋 2回目の有償による運行実験の実施

2-(3). 多摩区生田山の手地区コミュニティ交通「ぺあたく山の手号」の運行実験について

1 目的

- 生田駅北側の高台に居住する住民の買い物等の移動の課題解決と、ドライバー不足等による限られたタクシー車両での輸送の効率化をの課題解決に向けて取組む。

2 経緯

- 令和元年11月 協議会設立
- 令和4年2月 オンデマンド交通実証実験（令和4年4月まで）
- 令和6年3月 あいのりタクシー「山の手号」実証実験

3 令和7年度の運行実験における取組内容について

- 複数コース（降車場所）の設定からエリア内において好きなポイントで降車可能とし、相乗り率の向上も図る。
- チケットの事前購入（会員）制とし、運賃収受の円滑化へ向け、現金支払いからチケットでの支払いとする。



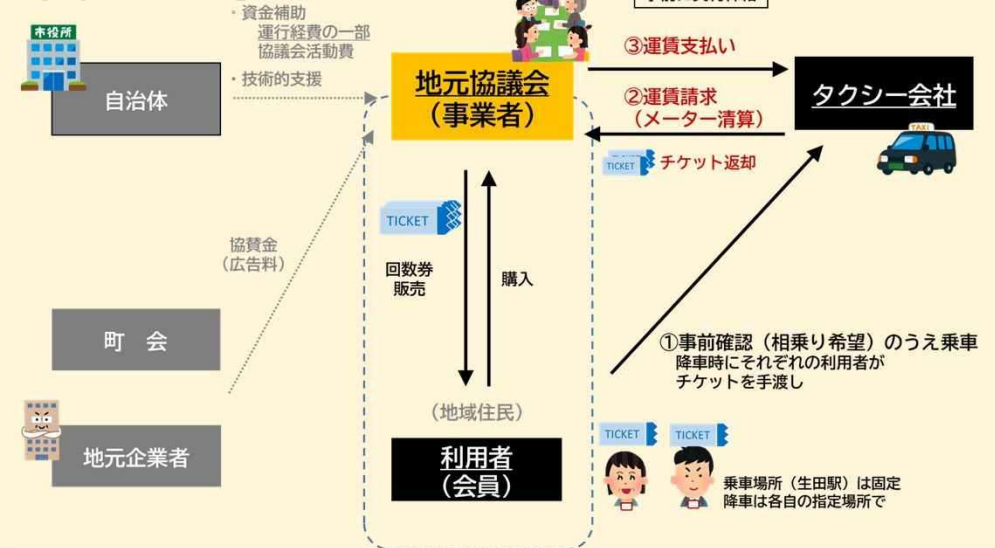
生田山の手自治会内の好きなポイントで降車



4 運行内容について（※現在調整中）

- 事業主体 山の手号協議会
- 愛称 ペあたく山の手号
- 運行日 運行実験期間中毎日（令和7年秋～）
- 運行時間 11時～21時 毎時00分、30分推奨
- 車両 生田交通所有の車両
- 乗車場所 生田交通タクシー乗り場
- 降車場所 生田山の手自治会内
- 利用方法 ①会員にネックストラップ（会員証）を配布
②乗車場所でネックストラップを着用し、利用の意思を表示
③利用者は、乗車時に会員証を運転手に提示し、生田山の手自治会内の降車場所を指定
④運転手にチケットを渡して降車
- チケット 4枚綴り 1,000円
2名利用の場合1枚/人、1名利用の場合2枚/人

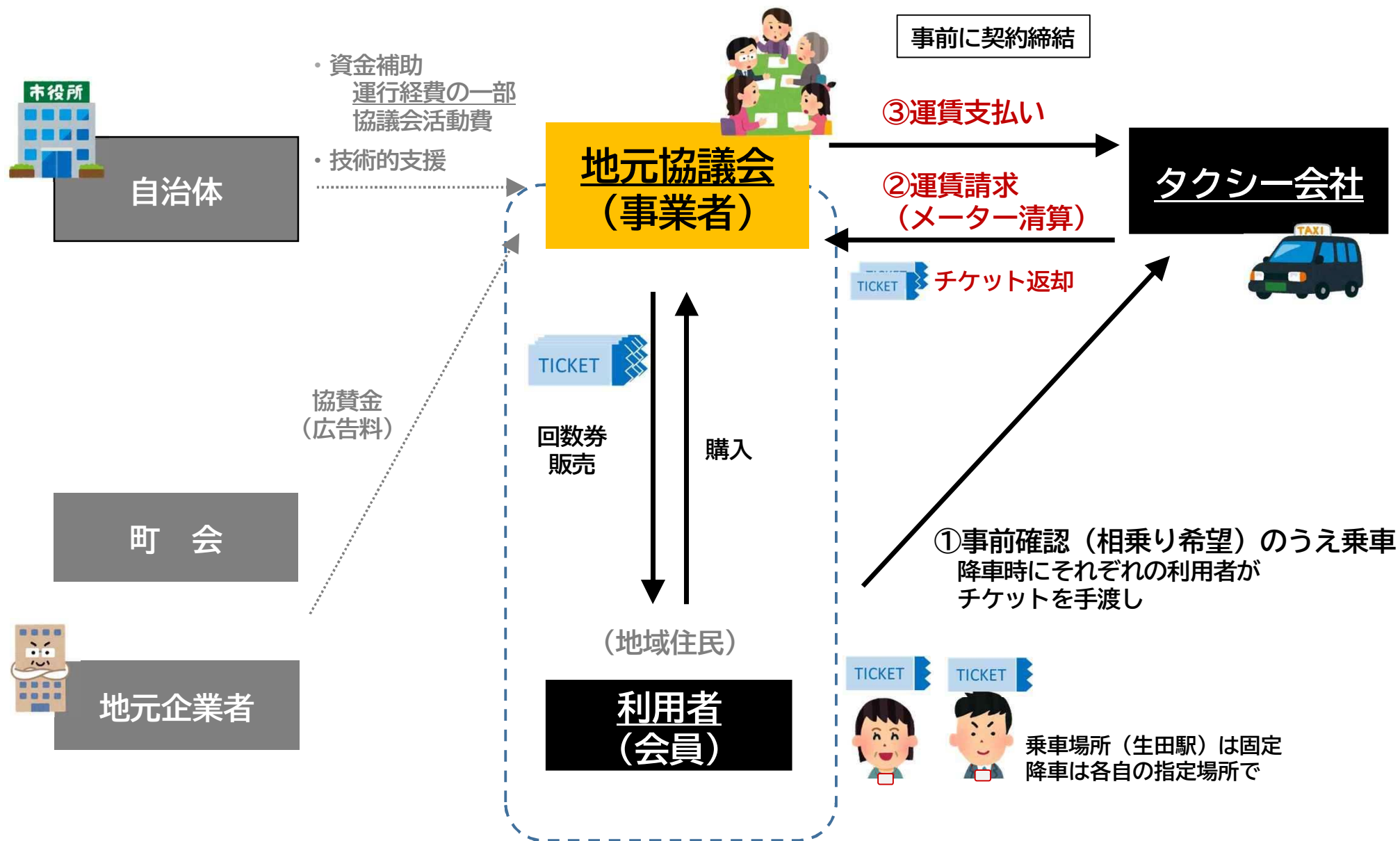
【事業スキーム】



5 今後のスケジュール

- 令和7年秋～ 新たな手法で運行実験の実施

乗用事業活用型(相乗り・タクシーチケット方式) 運営イメージ(生田山の手地区)



3 今年度実施予定の民間事業者による 新技術・新制度を活用した取組について【報告事項】

- (1) 川崎区の一部におけるデマンド交通「のるーとKAWASAKI」の実証実験について
- (2) 中原区と高津区の一部におけるデマンド交通「チョイソコかわさき」の実証実験について

- ## 1 目的

- ## 2 經緯

3 今年度の取組内容について

- デマンド交通の運行に併せて、公共施設にバスと乗り継ぎが出来る憩い空間を形成
- 商業施設と連携して乗継拠点を設置し、路線バスとの乗継を促進、のるーとの運行エリア外にも実証実験の効果を波及させる。
- 地域住民等へのAIデマンド交通サービスの認知度向上を目的に、本年度の実証実験においては、運賃を有償として運行
- AIオンデマンドバスのノウハウを持つ企業と川崎区に合った新モビリティサービスを共創し、運転者不足にも対応できる地域交通の維持に取り組む

- #### 4 今年度の運行内容について（※現在調整中）



- ## 5 今後のスケジュール（※現在調整中）

4 モビリティ・ハブの取組について〔報告事項〕

事業の背景 路線バスの減便状況

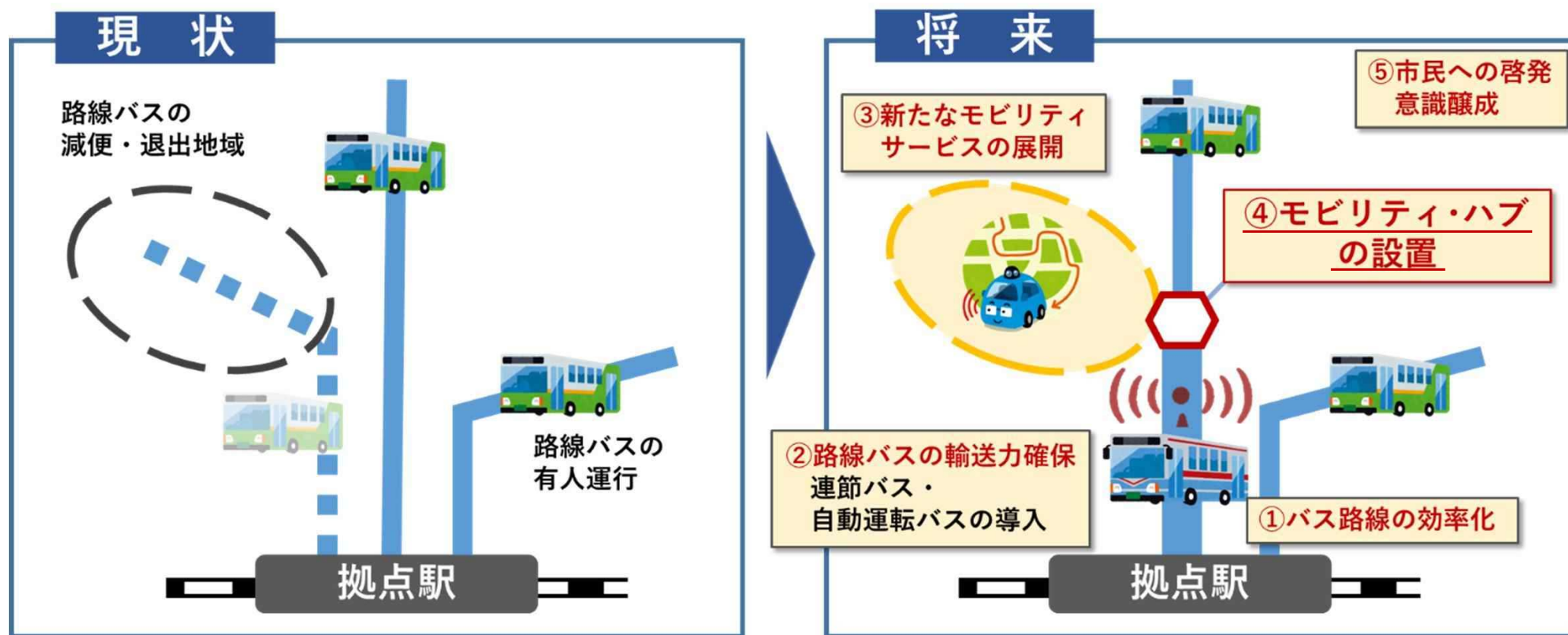
市人口は増加傾向

R6.4.8
人口155万人を突破



今後の地域交通の取組の考え方

路線バスの減便・退出による交通環境の変化から、本市の交通利便性を維持し続けるためには、路線バスと多様なモビリティを組み合わせることによる市民の移動環境の担保が必要であり、特に乗り換え機能を持つモビリティハブの社会的認知の醸成、実装が重要となる。

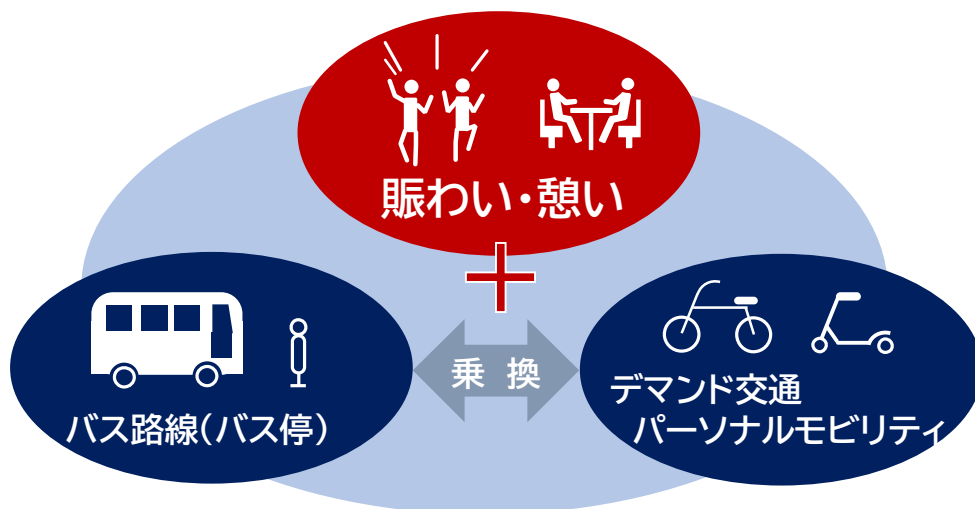


モビリティステーションについて

モビリティハブはこれまでの交通体系と異なるものであり、利用者目線での乗り換え抵抗の軽減等が必要となる。そこで、モビリティハブには賑わいや憩いの空間など、目的地ともなる身近な生活拠点としての機能が求められる。

こうしたバス交通結節点を「モビリティステーション」と定義し、市内の複数箇所で実装していくことで、地域の賑わいを創出しながら、子どもから高齢者までみんなが移動しやすいと思えるまちづくりを目指す。

モビリティステーション



モビリティステーションの
形成で地域の賑わいも創出

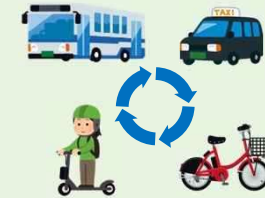


モビリティステーションに求められる条件

機

① 交通手段の乗り換え機能

多様な交通モードへの円滑な乗換が可能



+

② 快適な滞在環境

待合スペースなど安心・快適に乗り換えできる憩いの空間



能

+

③ 賑わい交流機能

単なる乗り換え拠点ではなく寄り道したくなる目的地



位
置

④ 鉄道駅から一定の距離がある場所

路線バスのバス停から至近



運
営

⑤ 民間自立型

行政支援を要することなく民間事業者が自立運営



※①だけでモビリティハブとしては成立

モビリティステーションの参考事例

■「hocco(ホッコ)」(東京都武蔵野市)



地域コミュニティの拠点

住居兼店舗の賃貸住宅と交通拠点による複合施設であり、バス停やシェアモビリティを整備し、中庭を囲む形で暮らしと商いが交わる地域交流づくりの取組

交通モード	バス停、シェアサイクル、カーシェア
快適空間	中庭（滞在スペース）、軒下、土間スペース
賑わい	商いスペース、コミュニティスペース

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

KAWASAKI L4 BUS PROJECT

川崎市 説明資料

2025.09.01



運行ルート

目標：営業運行しているバス路線において、自動運転L4の実装をめざす
⇒全国への横展開モデルを形成



羽田連絡線

- 全国初の都道府県を跨ぐルート
- 羽田空港至近という抜群のロケーション



川崎病院線

- 1日30万人以上が利用する川崎駅前を走行するルート

FY24結果

※中型バス「Minibus2.0」1台で運行

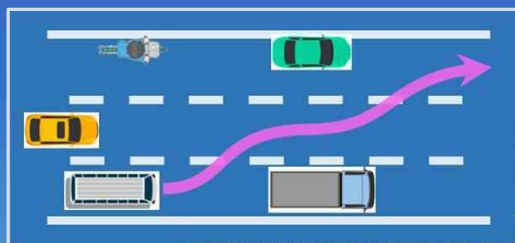
自動運転 レベル2 ・ 走行期間 8日間 ・ 自動運転率 86.8% ・ 手動介入トップ要因 路上駐車



FY25の取組のポイント

①レベル4早期実現

路駐回避・車線変更の技術向上



回送ルートの3D地図作成

②事業採算性の向上

大型車両の追加導入



運賃箱の設置
(有償運行:着席・急行料金の設定)

③社会受容性の向上

かわさきのりものフェスタ(11月開催予定)



自動運転シンポジウム

令和7年11月開催予定
in 川崎日航ホテル

(現在調整中)

その他 I:Nの遠隔監視、路上駐車対策、通年運行の実施、クラウドファンディング実施 など

▶ 「横展開できる実装モデル」を構築

FY25の取組のポイント

①近隣施設との連携



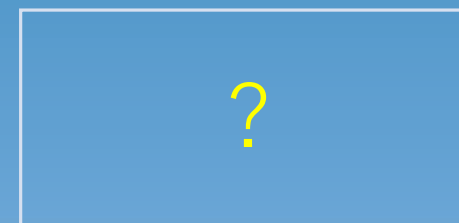
ランチ割引、科学イベントとの連携

②市民とのコラボ



川崎市市民文化大使EXILE 松本利夫氏
川崎市立宮前小学校児童による音声案内

③乗りたくなる仕掛け



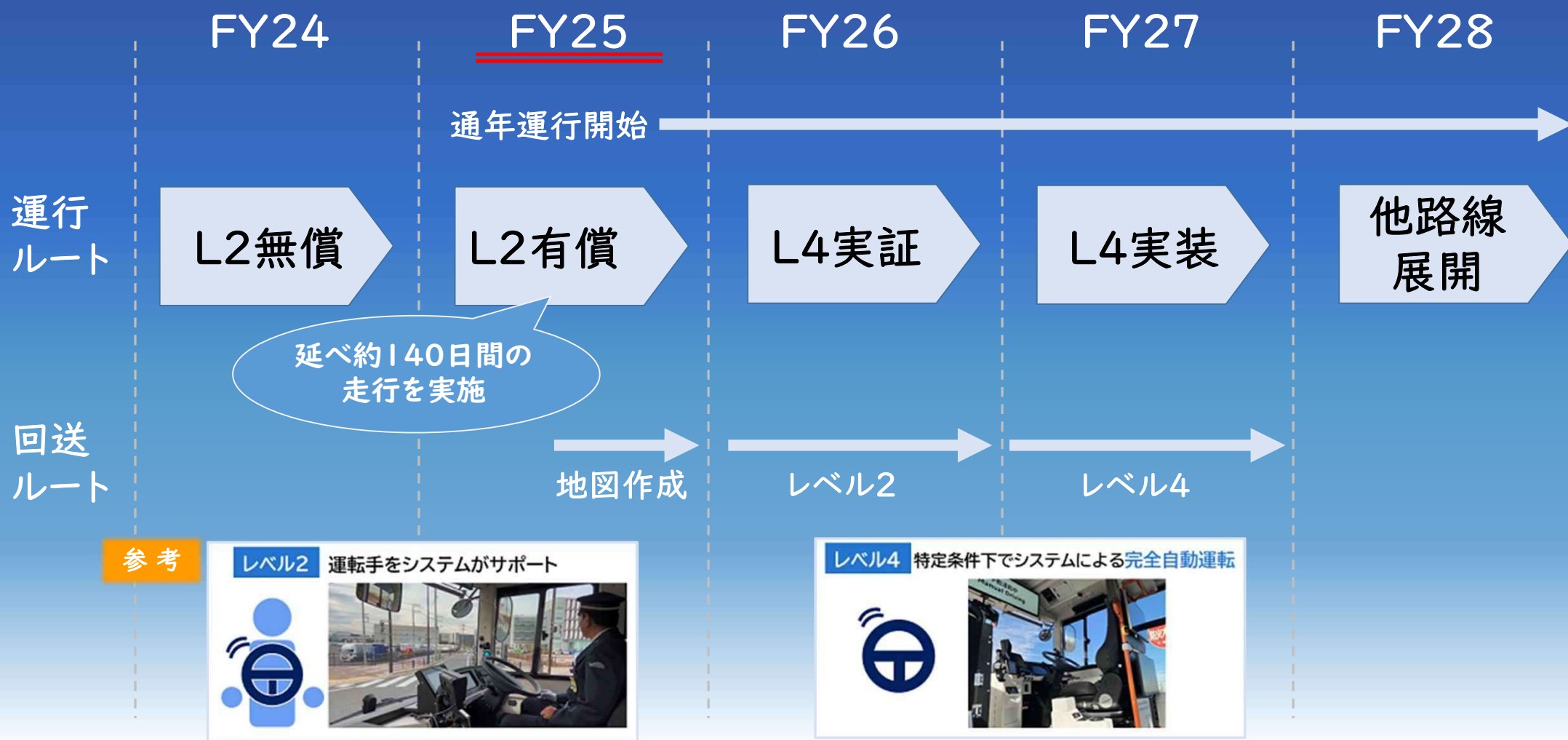
その他 大学との連携、I:Nの遠隔監視、路上駐車対策、通年運行の実施、クラウドファンディング実施 など

▶ 「技術+αのビジネスモデル」を構築

FY25スケジュール

大項目	小項目	令和7(2025)年									令和8(2026)年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国庫補助	手続き	エントリー → ● 内示 ● 採択・交付決定 とりまとめ → ● 報告書提出											
コミッティ	開催	● 事業内容報告 ● 結果報告											
実証実験	羽田連絡線 (ティアフォー / minibus)	調律走行 7/21 → 9/19 訓練走行 9/22 → 11/26 レベル2での有償運行 3/3 通年運行											
	羽田連絡線 (いすゞ自動車 / 国産大型バス)	調律走行 9/1 → 9/26 訓練走行 9/29 → 10/16 レベル2での無償運行											
	川崎病院線 (ティアフォー / minibus)	調律走行 → 訓練走行 → 調整中 → レベル2での有償運行											
認可取得	許認可・協力等の取得	R7実証手続き → 申請に必要なデータ取得 → レベル4申請に向けた走行環境定義											

ロードマップ



お知らせ

羽田連絡線の自動運転バスの運行に係るプレスリリース(9/1)

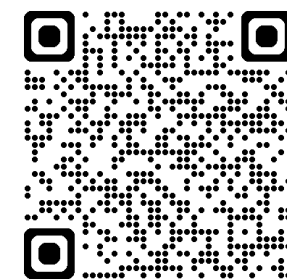
【Minibus】

- 9/22から運行開始(※土日祝日運休)
- 運行時間は9時台～16時台(5往復／日)
- 運行ルートは大師橋駅～天空橋駅間
- 運賃は大人440円／回、小人320円／回(支払いはキャッシュレス)
- 試乗予約受付は9/8開始予定

【ERGA】

- 10月3日(金)、6日(月)、7日(火)、8日(水)に体験乗車
- 運行時間は10時台～15時台(4往復／日)
- 運行ルートは大師橋駅～大師橋駅間
- 運賃は無料
- 試乗予約受付は9/16開始予定

川崎市ホームページ



詳細は市HPから

6 各種分科会報告について〔報告事項〕

- (1) 令和7年度生活交通改善事業評価について
(UDタクシー、ノンステップバスの導入計画)

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和7年8月19日

（名称）川崎市地域公共交通会議分科会
（地域公共交通バリア解消促進等事業（タクシー部門））
（代表者名）会長 塚田 雄也

1. 生活交通改善事業計画の名称

令和7年度 川崎市ユニバーサルデザインタクシー等導入促進事業計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

川崎市では、高齢者社会の進展などによる社会的ニーズの変化に合わせて、平成25年3月に改訂した「川崎市総合都市交通計画」において、高齢者や障害者など誰もが安全で快適に利用できる交通環境の整備を目標としており、そのために「交通の安全・安心の強化」を重点施策の一つとして掲げ、ユニバーサルデザインの推進に取り組むこととしている。

このことから、市民の移動の安全性を確保するとともに、移動の円滑化を図るため、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシー（以下「UDタクシー」という。）等の普及を促進する必要がある。さらに、車いす利用者などに対しても、公共交通における環境整備と利用者の社会参加の促進に寄与するものであるため、普及促進を早期に図る必要がある。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

（1）事業の目標

川崎市内の法人タクシー総台数において、「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について」の令和7年度までに約25%をUDタクシーとすることを目標とする。

（2）事業の効果

UDタクシー等を導入することにより、車いす利用者等の移動への負担が軽減され、移動の円滑化が図られるとともに、これまで自家用車で送迎されていた車いす利用者などがUDタクシー等の利用に移行することも見込まれることから、公共交通利用者の増加が期待できる。

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者
(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
【川崎市合計】 UDタクシーの導入61台 ・UDタクシー（スロープ車両）の導入（6台）：ひまわり交通(株) ・UDタクシー（スロープ車両）の導入（5台）：コスモ交通(株)、ワールド交通(株)、新興タクシー(株)、川崎タクシー(株)、多摩田園タクシー(株)、東栄興業(株)、富士電物流(株)、(株)八重洲タクシー、平和交通(株) ・UDタクシー（スロープ車両）の導入（3台）：神奈川都市交通(株)、川崎交通産業(株) ・UDタクシー（スロープ車両）の導入（2台）：(株)今井運送、生田交通 福祉タクシーの導入2台 ・福祉タクシー（リフト付き車両）の導入（1台）：神奈川都市交通(株)、富士電物流(株) ジャンボタクシーの導入6台 ・ジャンボタクシーの導入（3台）：ワールド交通(株) ・ジャンボタクシーの導入（2台）：東栄興業(株) ・ジャンボタクシーの導入（1台）：生田交通(株) （実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について） 各社ともに身体1割引、知的1割引、精神1割引
(2) 関連事項（以下、〈 〉 内の事業に該当する場合に記載）
〈福祉タクシー車両・共同配車センターに係る事業〉 特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（平成21年法律第64号）第3条に定める特定地域に指定（平成27年8月1日）

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
令和7年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
UD タクシー等 導入促進事業	177,647 千円 100%	36,000 千円 20.26%	0 千円 0%	0 千円 0%	21,364 千円 79.74%
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					

6. 計画期間												
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載												
事業の名称	令和7年度				令和8年度				令和9年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
UD タクシー等 導入促進事業												

7. 協議会の開催状況と主な議論
・平成24年4月12日 川崎市地域公共交通会議分科会（地域公共交通バリア解消促進等事業（タクシー部門））設立 ・令和6年6月28日（第1回）分科会文書協議、令和6年度計画について合意 ・令和7年1月31日（第2回）分科会文書協議、令和5年度事業評価について合意 ・令和7年8月14日（第1回）分科会文書協議、令和7年度計画について合意

8. 利用者等の意見の反映
川崎市地域公共交通会議分科会（タクシー部門）の構成員に意見を照会し、計画案について同意を得た。

9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	
関係市区町村	川崎市まちづくり局交通政策室
交通事業者・交通施設管理者等	神奈川県タクシー協会川崎支部、神奈川県個人タクシー協会
地方運輸局	関東運輸局神奈川運輸支局
その他協議会が必要と認める者	川崎市全町内会連合会（利用者代表）、日本福祉医療輸送機構

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所） 川崎市川崎区宮本町1番地
 （所 属） 川崎市まちづくり局交通政策室
 （氏 名） 北村、大室
 （電 話） 044-200-3039
 （e-mail） 50kousei@city.kawasaki.jp

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和7年8月19日

(名称) 川崎市地域公共交通会議分科会
(地域公共交通バリア解消促進等事業 (バス部門))

(代表者名) 会長 塚田 雄也

1. 生活交通改善事業計画の名称

令和7年度 川崎市ノンステップバス導入促進事業計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

川崎市では、高齢社会の進展などによる社会的ニーズの変化にあわせて、平成30年3月に改訂した「川崎市総合都市交通計画」において、高齢者や障害者など誰もが安全で快適に利用できる交通環境の整備を目標としており、そのために「交通の安全・安心の強化」を重点施策の一つとして掲げ、ユニバーサルデザインの推進に取り組むこととしている。

このことから、市民の移動の安全性を確保するとともに、移動の円滑化を図るため、誰もが利用しやすいノンステップバス車両の普及を促進する必要がある。さらに、車いす利用者などに対しても、公共交通における環境整備と利用者の社会参加の促進に寄与するものであるため、導入促進を図る必要がある。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

(1) 事業の目標

川崎市全域において、ノンステップバスの比率は、「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について」の令和7年度までに約80%の整備目標を実現しているが、導入率を段階的に上げ、更なる推進に取り組む。

(2) 事業の効果

ノンステップバスを導入し、高齢者や障害者など誰もが乗降しやすくなることで、利用者の移動円滑化や利便性向上が図られる。さらに高齢者等の外出促進につながることや自家用車からバス利用への転換などにより、バス利用者の増加に寄与する。自家用車からの転換については、環境負荷の低減も期待できる。

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

(内容)【川崎市合計】ノンステップバスの導入 56 台

・ノンステップバスの導入	大型	31 台	川崎市交通局
・ノンステップバスの導入	大型	4 台	小田急バス株式会社
・ノンステップバスの導入	大型	6 台	東急バス株式会社
	中型	1 台	東急バス株式会社
・ノンステップバスの導入	大型	14 台	川崎鶴見臨港バス株式会社

(実施事業者(補助対象事業者)の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について)	
各社ともに	身体：普通旅客運賃 5割、定期旅客運賃 3割
	知的：普通旅客運賃 5割、定期旅客運賃 3割
	精神：普通旅客運賃 設定なし(小田急バスは夏頃5割に設定予定)
	定期旅客運賃 設定なし

(2) 関連事項(以下、〈 〉内の事業に該当する場合に記載)

〈バス車両の導入に係る事業〉

事業を実施する地域を含む都道府県における車いす対応車両(ノンステップバス、ワンステップバス及びリフト付きバス)等の導入台数。

令和7年3月31日現在

事業者名	車両数(台)			
	ノンステップ	ワンステップ	リフト付き	総数
交通局	288	16	0	304
	94.7%	5.3%	0.0%	
小田急バス	183	0	0	183
	100%	0%	0%	
東急バス	54	22	0	76
	71.1%	28.9%	0.0%	
臨港バス	254	12	0	266
	95.5%	4.5%	0.0%	
川崎市合計	779	50	0	829
	94.0%	6.0%	0.0%	

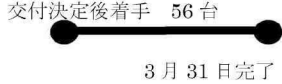
5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和7年度(当該年度)

事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負 担割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
ノンステップ バスの導入	1,903,650 千円	59,800 千円	0 千円	0 千円	1,843,850 千円
	100%	3%	0%	0%	97%

※総事業費については見込み額を記載

※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。

6. 計画期間												
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載												
事業の名称	令和7年度				令和8年度				令和9年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
ノンステップバスの導入												

7. 協議会の開催状況と主な議論
- 平成24年4月12日 川崎市地域公共交通会議分科会（地域公共交通バリア解消促進等事業（バス部門））設立 - 令和6年6月28日（第1回）令和6年度事業計画について合意 - 令和7年1月31日（第2回）令和5年度事業評価について合意 - 令和7年8月14日（第1回）令和7年度事業計画について合意

8. 利用者等の意見の反映
川崎市地域公共交通会議分科会（バス部門）の構成員に意見を照会し、計画案について同意を得た。

9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	
関係市区町村	川崎市まちづくり局交通政策室
交通事業者・交通施設管理者等	神奈川県バス協会
地方運輸局	関東運輸局神奈川運輸支局
その他協議会が必要と認める者	川崎市全町内会連合会（利用者代表）

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所） 川崎市川崎区宮本町1番地
 （所 属） 川崎市まちづくり局交通政策室
 （氏 名） 北村、大室
 （電 話） 044-200-3039
 （e-mail） 50kousei@city.kawasaki.jp

7 地域公共交通に係る意見交換 [報告事項]